賀来校区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

賀来校区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

大分市において、令和元年度より「みんなが主役の支え合いプラン」（第４期大分市地域福祉計画・第５次地域福祉活動計画）に基づき、地域福祉推進に向けた取り組みが推進されています。

ここ賀来校区においては、誰もが住みなれた地域を生かし、お互いが支え合い助け合うことにより、安心していきいきと生活できるまちづくりをめざし、自治会・民生児童委員・公民館等各種団体の持つ機能を組み合わせ地域住民と協力して地域福祉活動を進めています。

一方我が国では超高齢化社会・人口の減少・単身世帯の増加などさまざまな社会要因により、生活上支援を要する人がますます増加することが懸念されます。地域共生社会の実現に向けた地域福祉の概念が提唱されるなど、地域社会のつながりが重要であり住民同士の支え合い・助け合いの関係を進めていくことが必要とされます。

現在、賀来校区（人口約 10,100 人・戸数約 4,900 戸）には約 200 名のふれあい対象者がいます。令和３年度、このふれあい対象者に対し困りごとのアンケート調査を実施致しました。この調査結果に基づき地域福祉の活動を推進するため賀来校区地域福祉活動計画を策定致しました。今後は実施に向けてさらに議論を重ね、安心・安全なまちづくりを進めます。

この計画が賀来校区の福祉活動の発展につながることを祈念するとともに、今回この策定にあたりご協力をいただきました委員・関係者・ご意見をいただいた方にはご協力をいただき大変ありがとうございました。以上感謝を申し上げ挨拶と致します。

賀来校区社会福祉協議会
会長　小野　博市

目　次

第１章　はじめに 1

（1）計画策定の背景 1
（2）大分市社会福祉協議会とは 1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは 1

第2章　賀来校区について 2

（1）賀来校区の概要 2
（2）校（地）区社会福祉協議会について 2
（3）人口推移 2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状 3
（5）高齢者サロンについて 5
（6）老人会について 7

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査 8

基本目標1：「地域のつながりをつくる」に関する設問 9
基本目標2：「地域で支え合う体制をつくる」に関する設問 11
基本目標3：「地域課題を解決できる体制をつくる」に関する設問 13
基本目標4：「安心・安全をつくる」に関する設問 16

第4章　賀来校区の活動計画と策定までのプロセス 17

（1）目標と具体的取り組み 17
（2）計画策定メンバー 21
（3）実施経過 22

第5章　資料編 23

（1）実態調査票 23
（2）実態調査集計結果 26

第 1 章　はじめに

（1）計画策定の背景

賀来校区は、大分市の南西に位置し、久大本線や、県道 207 号大分狭間線（医大バイパス）が通っています。校区内には、賀来川・大分川が流れています。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、地域に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「賀来校区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・賀来校区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という 2 つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に 45 の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章　賀来校区について

（1）賀来校区の概要

◇賀来校区は、大分市の南西に位置し、久大本線や、県道 207 号大分狭間線（医大バイパス）が通っています。校区内には、賀来川・大分川が流れています。

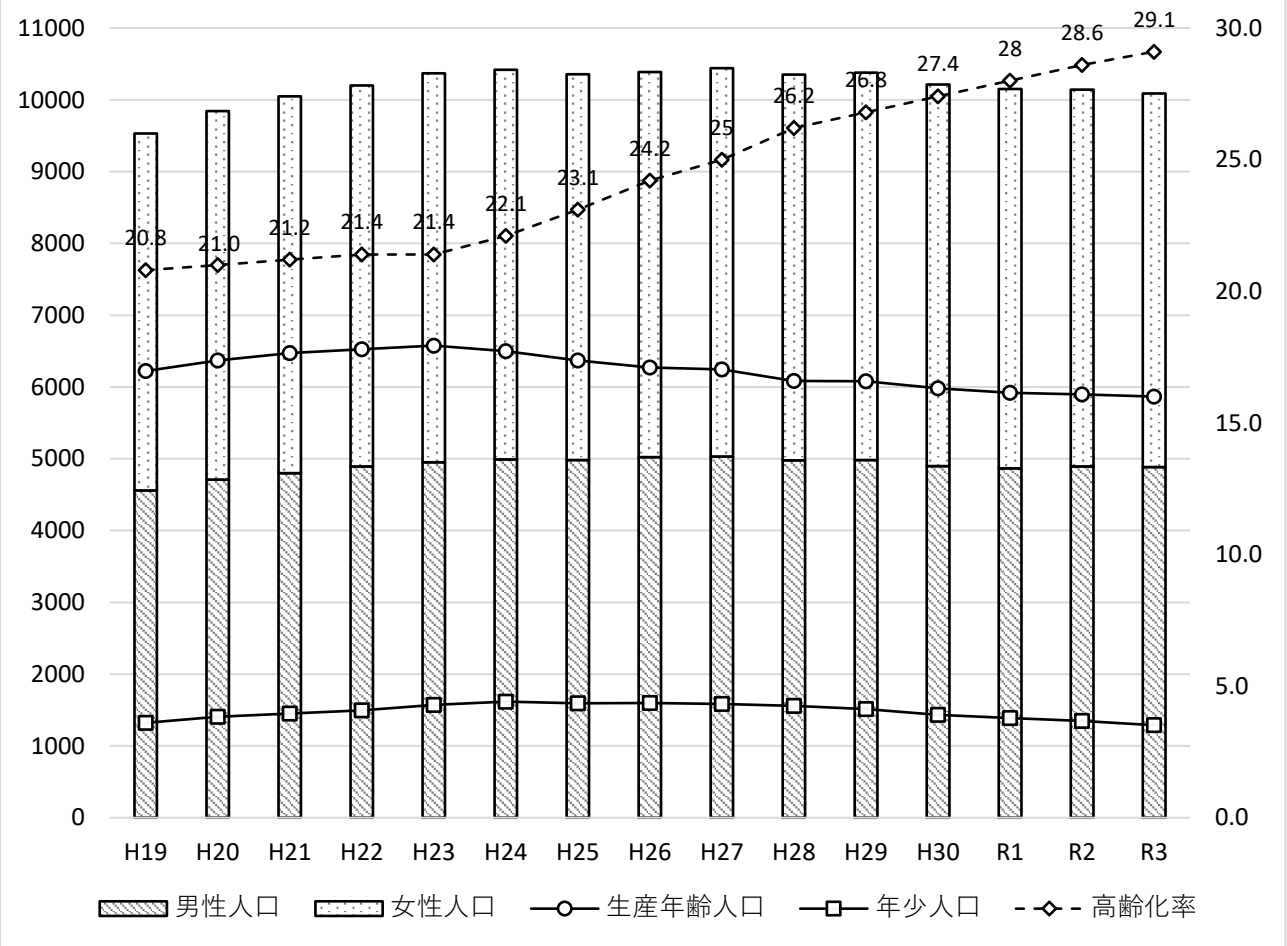
◇21 の自治会と 13 名の民生委員・児童委員、2 名の主任児童委員やボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

（2）校（地）区社会福祉協議会について

◇平成元年に設立されました。

（3）人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代 4 月時点）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者　213 人　　④緊急連絡先のない対象者　3 人

②ふれあい協力者　174 人　　⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者　1 人

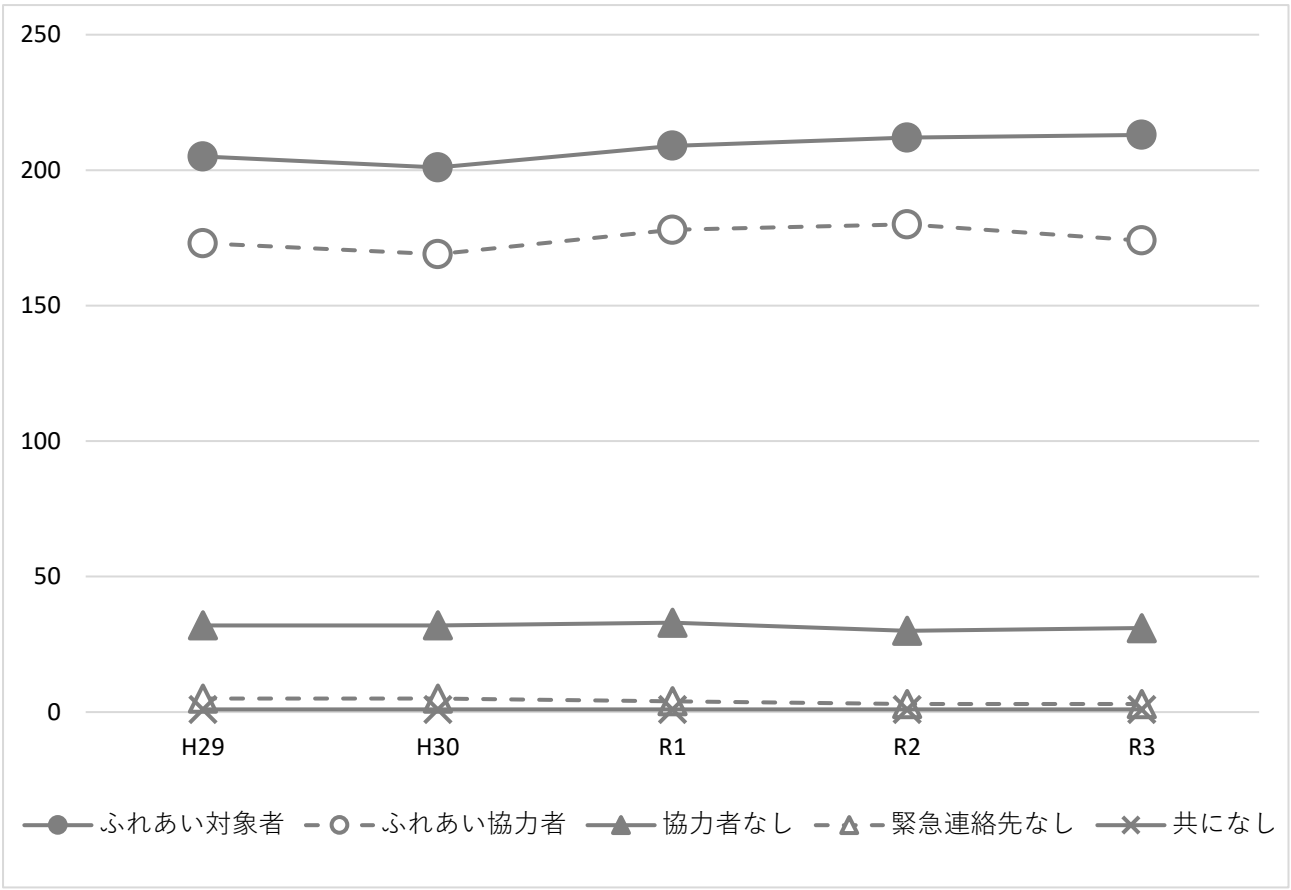
③協力者のいない対象者　31 人　　（令和 3 年 4 月 1 日現在）

番号	自治会区	自治会長	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員区	民生委員	①	②	③	④	⑤
1	下片面	田﨑　孝信	1	1	0	0	0	1	下片面、上片面、餅田	阿部　千代美	13	13	0	0	0
2	上片面	宮成　浩三	6	5	0	0	0								
3	餅田	正　勝雪	6	7	0	0	0								
4	桑原	秦　和恵	11	8	3	0	0	2	桑原	渕野　絹代	12	9	3	0	0
5	車木	中村　愼一	8	8	0	0	0	3	車木	佐藤　晴美	8	8	0	0	0
6	中島	宿利　文徳	1	0	1	0	0	4	中島、脇	宿利　康枝	4	1	3	0	0
7	脇	高野　幸人	3	1	2	0	0								
8	中尾	安部　悦治	4	4	0	0	0	5	中尾、野田、平横瀬、カームタウン野田	工藤　和代	18	16	2	0	0
9	野田	首藤　元徳	5	5	0	0	0								
10	平横瀬	二宮　勝己	9	7	2	0	0								
11	カームタウン野田	平川　正敏	0	0	0	0	0								
12	森ノ木	溝邉　俊文	6	3	1	0	0	6	森の木、国分台	溝邉　薫	13	9	2	0	0
13	国分台	小野　五男	7	6	1	0	0								
14	国分一	江良　知英	6	5	1	0	0	7	国分1、2、3	江良　あけみ	20	14	5	0	0
15	国分二	猪原　初喜	7	6	1	0	0								
16	国分三	猪原　元師	8	4	3	0	0								
17	国分団地	大野　加代子	23	16	2	0	0	8	国分団地	後藤　アヤ子	23	16	2	0	0
18	国分新町	見良津　保彦	32	29	12	1	1	9	国分新町1～20番	柳原　昭雄	15	15	3	0	0
								10	国分新町21～37番	安部　京子	17	14	9	1	1
19	東野台	吉良　美之	57	45	1	0	0	11	東野台1丁目	鹿子生　京子	27	25	1	0	0
								12	東野台2丁目	麻生　智子	30	20	0	0	0
20	東院	三ノ宮　義久	6	8	0	1	0	13	東院、宮苑	安部　博	13	14	1	2	0
21	宮苑	宮﨑　吉秀	7	6	1	1	0								

賀来校区のふれあい対象者推移

（令和３年４月現在）

賀来校区	H29	H30	R1	R2	R3
ふれあい対象者	205	201	209	212	213
ふれあい協力者	173	169	178	180	174
協力者なし	32	32	33	30	31
緊急連絡先なし	5	5	4	3	3
共になし	1	1	1	1	1



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守りあい・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

(5)高齢者サロンについて

賀来校区内にある高齢者サロンは6ヶ所です。

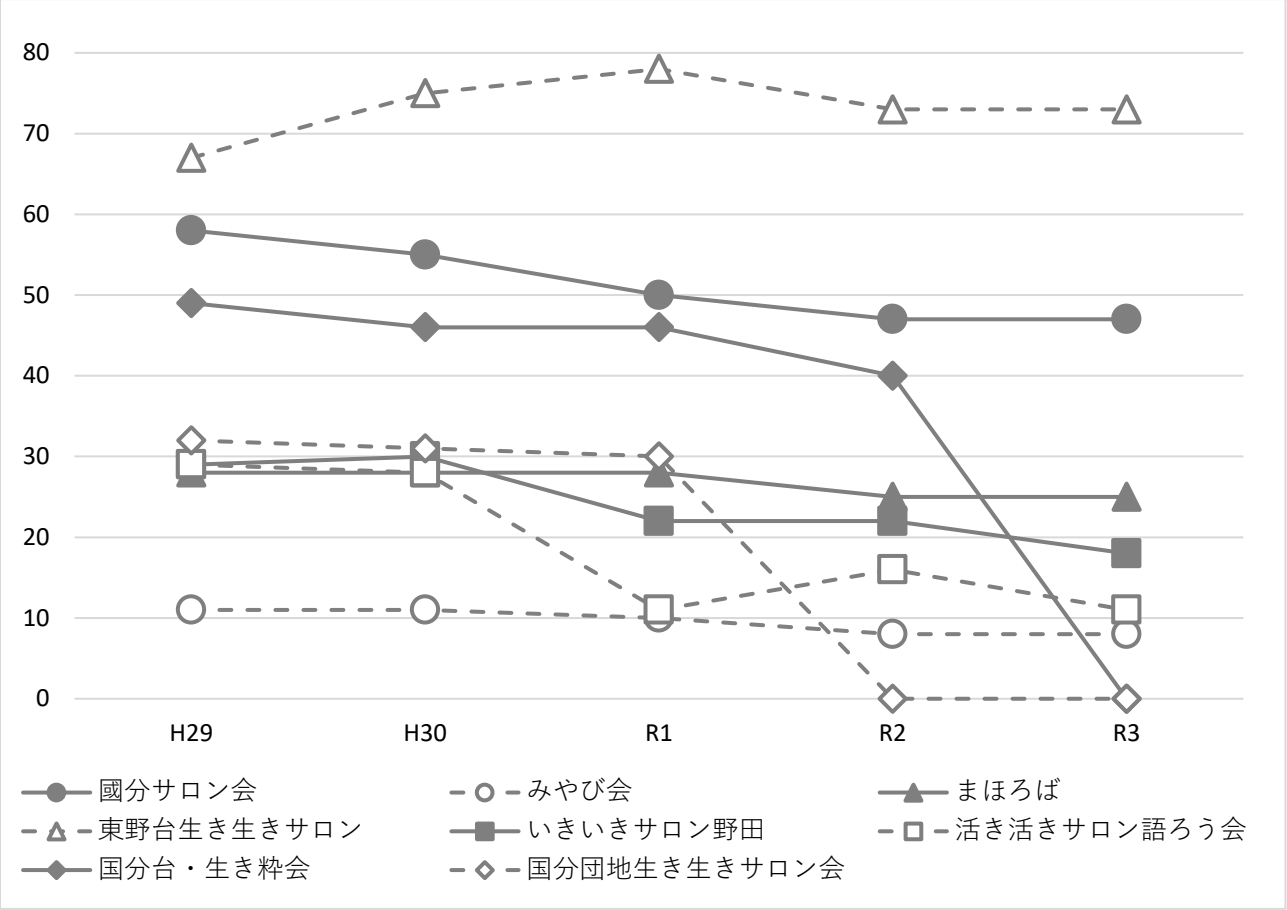
(令和3年4月現在)

	自治会名	サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
1	国分一、二、三	國分サロン会	国分公民館	53	47	H13.4.17
2	宮苑	みやび会	宮苑公民館	24	8	H13.5.20
3	カームタウン野田	まほろば	カームタウン野田公民館	36	25	H20.7.25
4	東野台	東野台生き生きサロン	東野台公民館	46	73	H21.8.8
5	野田	いきいきサロン野田	野田自治公民館	31	18	H23.6.28
6	宮苑	活き活きサロン語ろう会	妙楽寺集会所	9	11	H13.5.27

賀来校区での高齢者サロン参加者の推移

	自治会名	サロン名	H29	H30	R1	R2	R3
1	国分一、二、三	國分サロン会	58	55	50	47	47
2	宮苑	みやび会	11	11	10	8	8
3	カームタウン野田	まほろば	28	28	28	25	25
4	東野台	東野台生き生きサロン	67	75	78	73	73
5	野田	いきいきサロン野田	29	30	22	22	18
6	宮苑	活き活きサロン語ろう会	29	28	11	16	11
7	国分台	国分台・生き粋会	49	46	46	40	−
8	国分団地	国分団地生き生きサロン会	32	31	30	−	−

賀来校区での高齢者サロン参加者の推移の図



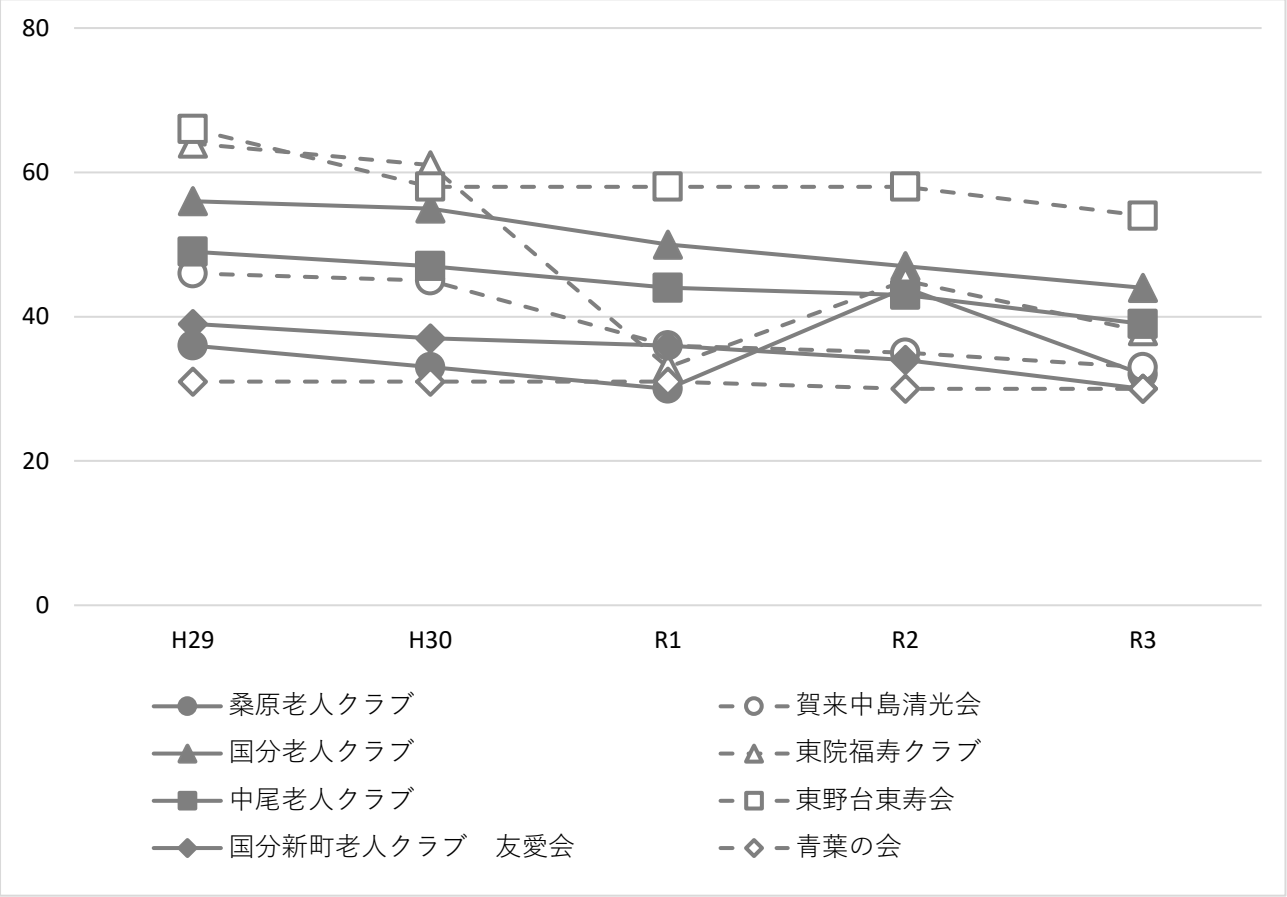
(6)老人会について

賀来校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは８ヶ所あります。

（令和３年４月現在）

老人クラブの参加者推移

	自治区名	老人クラブ名	H29	H30	R1	R2	R3
1	桑原	桑原老人クラブ	36	33	30	44	32
2	中島	賀来中島清光会	46	45	36	35	33
3	国分	国分老人クラブ	56	55	50	47	44
4	東院	東院福寿クラブ	64	61	33	45	38
5	中尾	中尾老人クラブ	49	47	44	43	39
6	東野台	東野台東寿会	66	58	58	58	54
7	国分新町	国分新町老人クラブ　友愛会	39	37	36	34	30
8	カームタウン野田	青葉の会	31	31	31	30	30



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、賀来校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	令和3年7月9日～令和3年9月10日
対　象	賀来校区内のふれあい対象者　204名 （令和3年7月9日現在の対象者数を基準に、調査実施期間中の状況を踏まえ一部調整を行いました）
回答者数	192名
回答率	94%
調査協力者	賀来校区民生委員の方々

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域のつながりをつくる」「地域で支え合う体制をつくる」「地域課題を解決できる体制をつくる」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この4つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

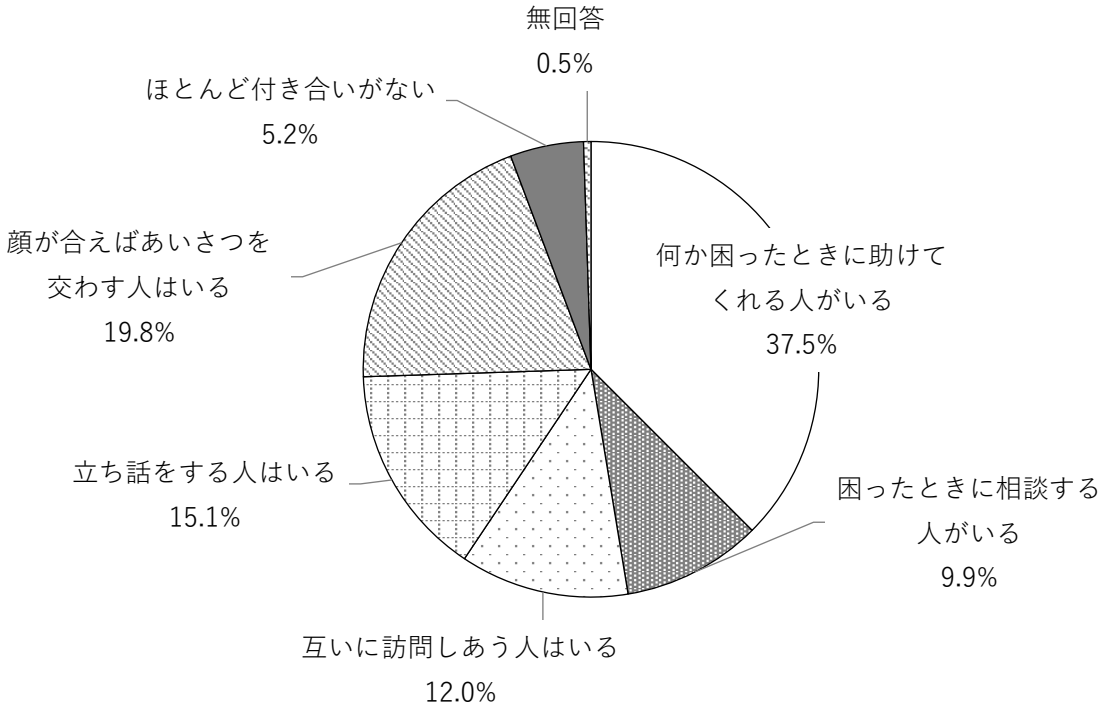
基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

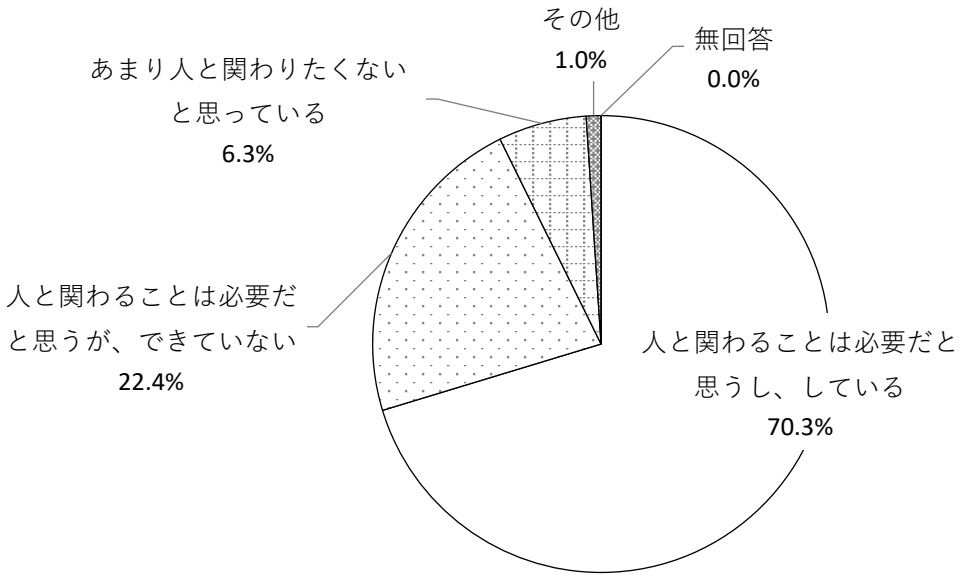
基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

近所づきあいの程度については、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 37.5%と最も高く、次いで、「顔が合えばあいさつを交わす人はいる」が 19.8%、「立ち話をする人はいる」が 15.1%となっている。なお、「ほとんど付き合いがない」は 5.2%となっている。

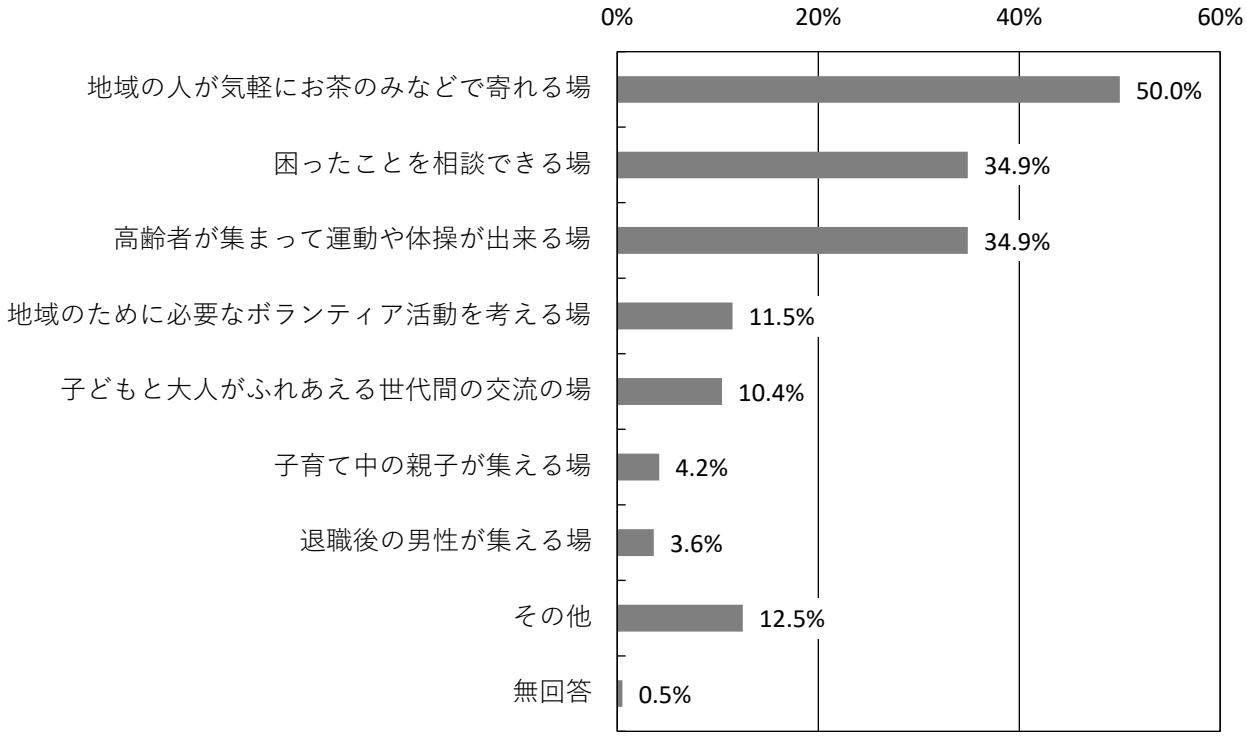
近所づきあいの考え方については、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 70.3%と最も高く、次いで、「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 22.4%となっている。なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 6.3%となっている。





必要と思われる≪地域住民がつながる場≫（問 17）

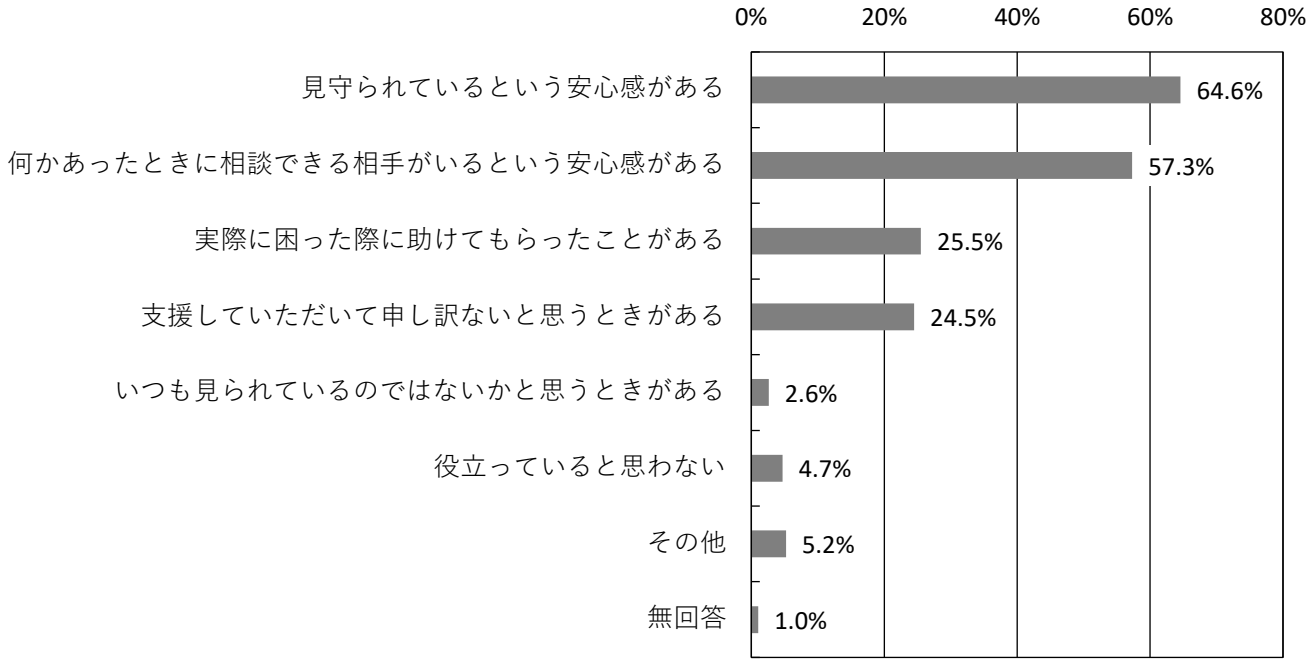
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 50.0%と最も高く、次いで、「困ったことを相談できる場」、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 34.9%となっている。



基本目標2:「地域で支え合う体制をつくる」に関する設問

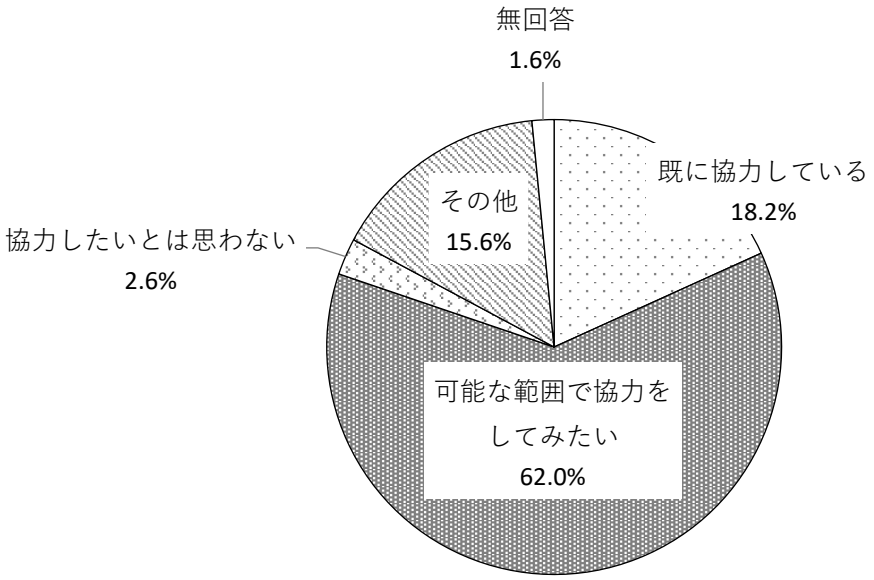
「ふれあい活動」で感じること（問 19）

「ふれあい活動」で感じることについては、「見守られているという安心感がある」が 64.6%と最も高く、次いで、「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 57.3%となっている。



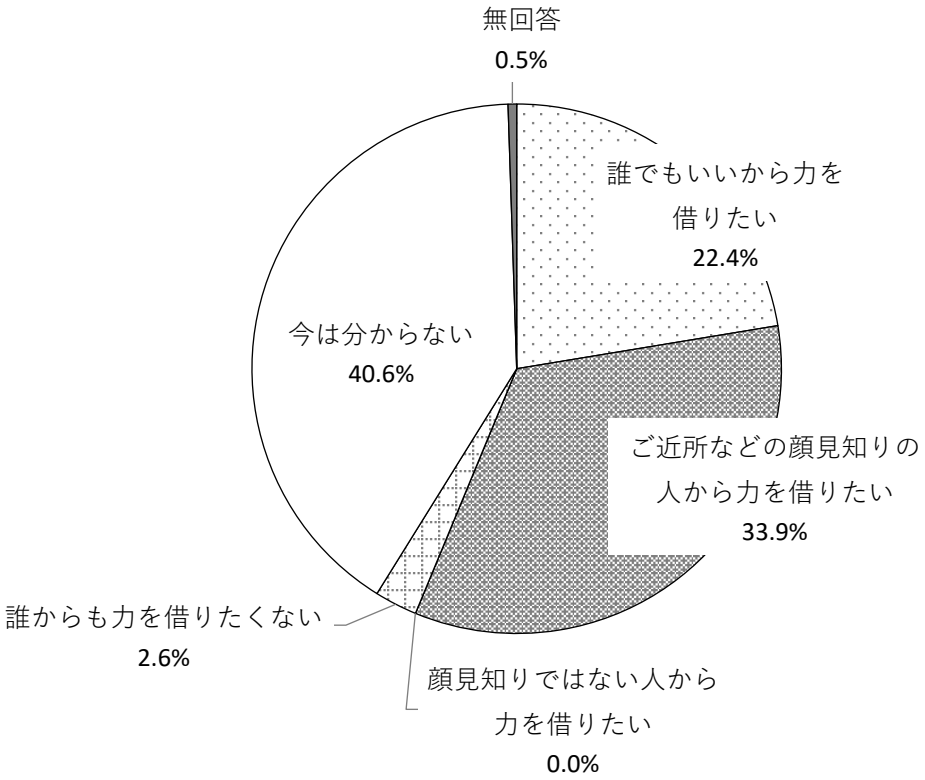
地域の行事や活動に協力してみたいと思うか（問 20）

地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が 18.2%、「可能な範囲で協力をしてみたい」が 62.0%、「協力したいとは思わない」が 2.6%、「その他」が 15.6%となっている。



日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 10）

日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答える方が多い傾向にある。



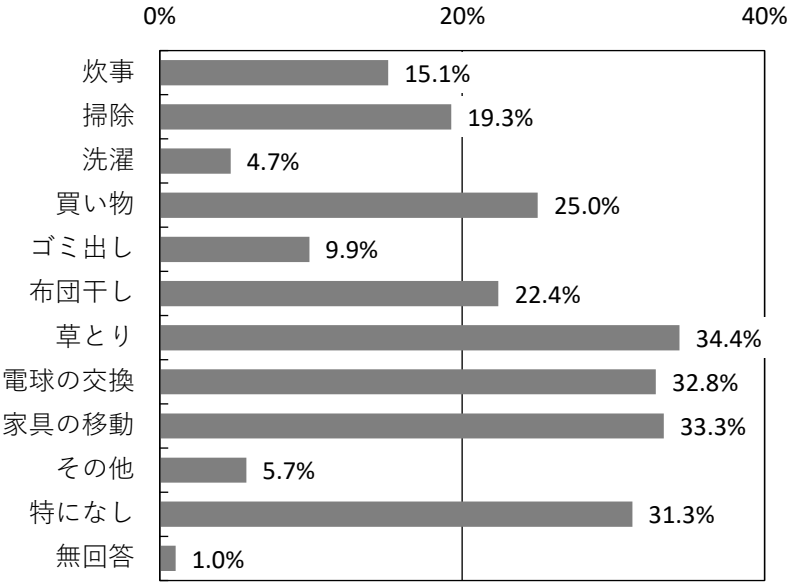
基本目標3:「地域課題を解決できる体制をつくる」に関する設問

日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「草とり」が 34.4%と最も高く、次いで、「家具の移動」が 33.3%、「電球の交換」が 32.8%となっている。なお、「特になし」は 31.3%となっている。

(N=192)

	回答数	割合
炊事	29	15.1%
掃除	37	19.3%
洗濯	9	4.7%
買い物	48	25.0%
ゴミ出し	19	9.9%
布団干し	43	22.4%
草とり	66	34.4%
電球の交換	63	32.8%
家具の移動	64	33.3%
その他	11	5.7%
特になし	60	31.3%
無回答	2	1.0%

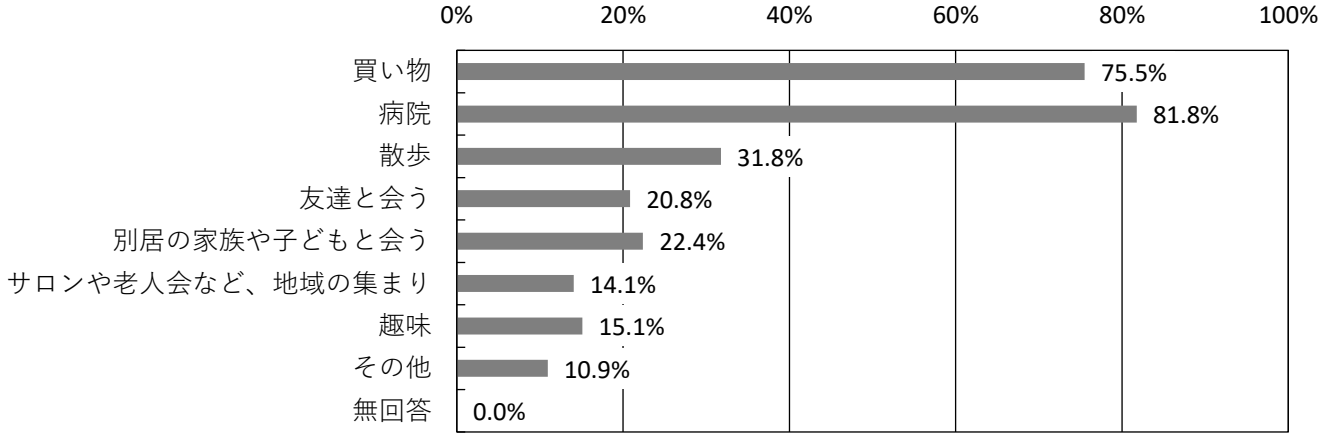


外出の理由(問 11)

外出の理由については、「病院」が 81.8%と最も高く、次いで、「買い物」が 75.5%、「散歩」が 31.8%となっている。

(N=192)

	回答数	割合
買い物	145	75.5%
病院	157	81.8%
散歩	61	31.8%
友達と会う	40	20.8%
別居の家族や子どもと会う	43	22.4%
サロンや老人会など、地域の集まり	27	14.1%
趣味	29	15.1%
その他	21	10.9%
無回答	0	0.0%

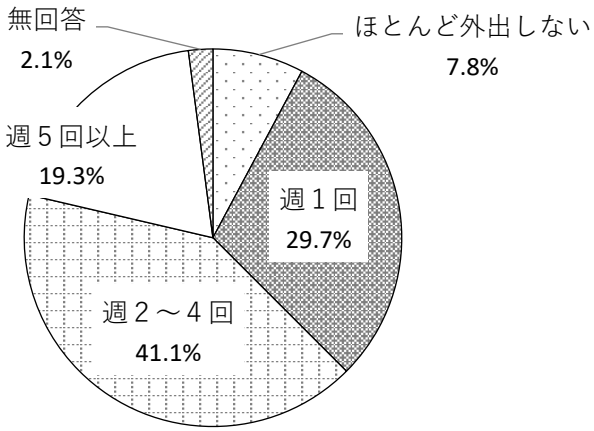


外出の頻度（問 12）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 41.1%と最も高く、次いで、「週 1 回」が 29.7%、「週 5 回以上」が 19.3%となっている。なお、「ほとんど外出しない」は 7.8%となっている。

（N=192）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	15	7.8%
週 1 回	57	29.7%
週 2 ～ 4 回	79	41.1%
週 5 回以上	37	19.3%
無回答	4	2.1%

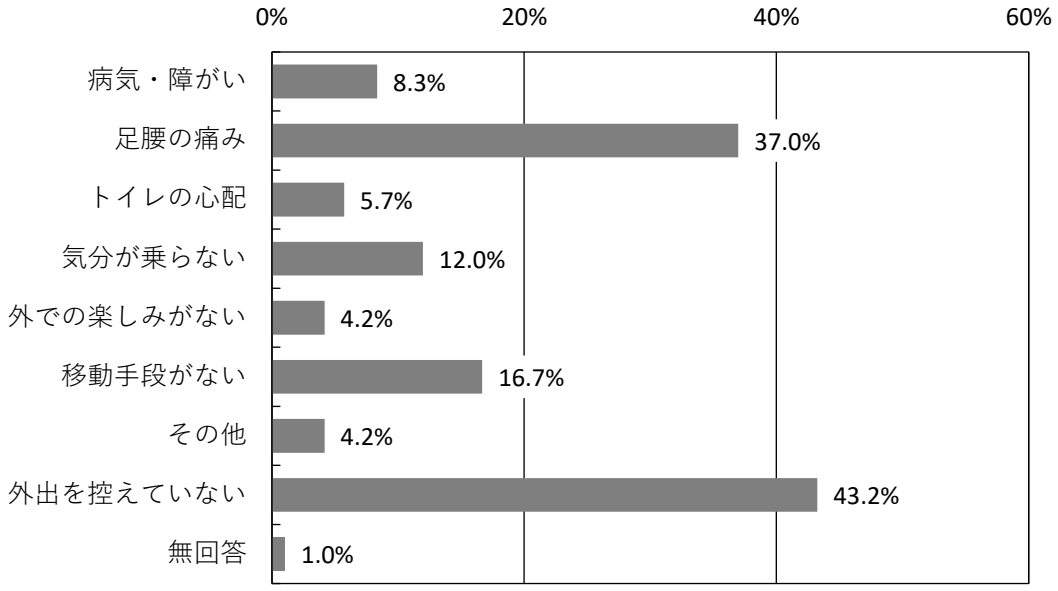


外出を控える理由（問 13）

外出を控える理由については、「足腰の痛み」が 37.0%と最も高く、次いで、「移動手段がない」が 16.7%、「気分が乗らない」が 12.0%となっている。なお、「外出を控えていない」は 43.2%となっている。

（N=192）

	回答数	割合
病気・障がい	16	8.3%
足腰の痛み	71	37.0%
トイレの心配	11	5.7%
気分が乗らない	23	12.0%
外での楽しみがない	8	4.2%
移動手段がない	32	16.7%
その他	8	4.2%
外出を控えていない	83	43.2%
無回答	2	1.0%

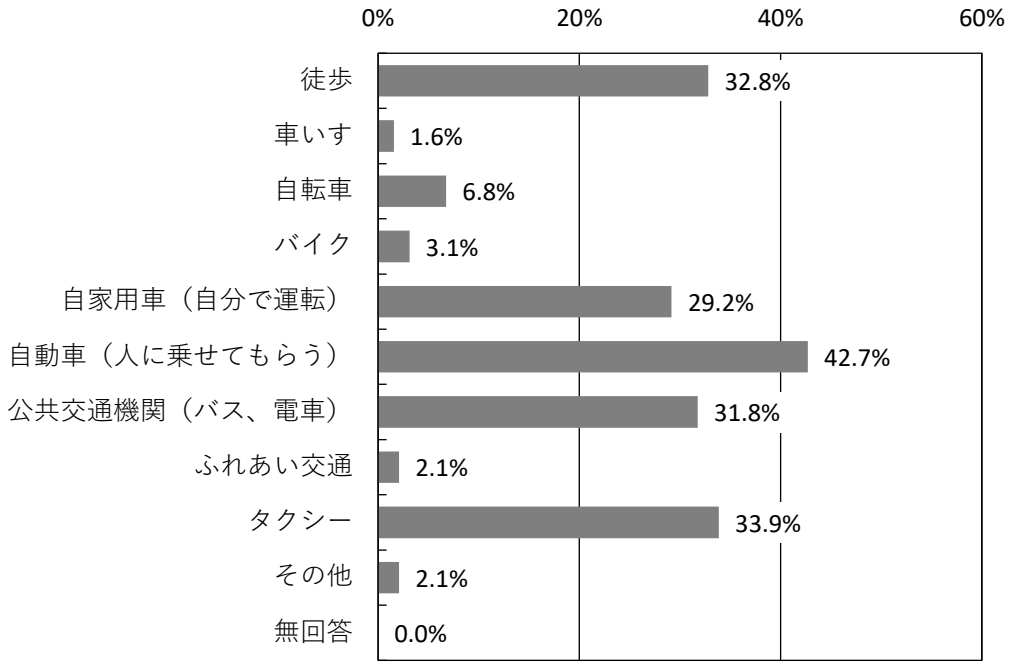


主な外出の手段（問 14）

主な外出の手段については、「自動車（人に乗せてもらう）」が 42.7%と最も高く、次いで、「タクシー」が 33.9%、「徒歩」が 32.8%となっている。

（N=192）

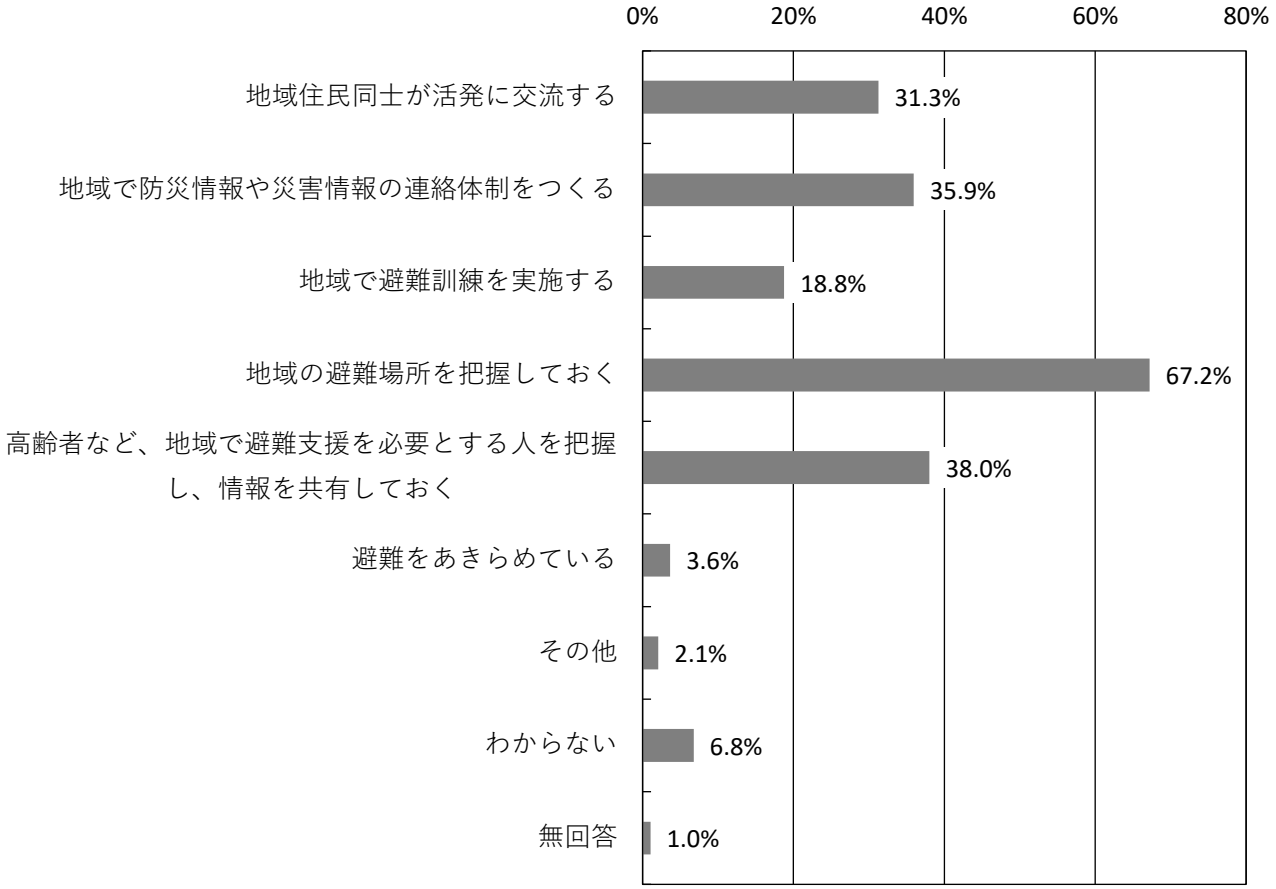
	回答数	割合
徒歩	63	32.8%
車いす	3	1.6%
自転車	13	6.8%
バイク	6	3.1%
自家用車（自分で運転）	56	29.2%
自動車（人に乗せてもらう）	82	42.7%
公共交通機関（バス、電車）	61	31.8%
ふれあい交通	4	2.1%
タクシー	65	33.9%
その他	4	2.1%
無回答	0	0.0%



基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に備えた地域ぐるみの準備とは（問 18）

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 67.2%と最も高く、次いで、「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」が 38.0%、「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」が 35.9%となっている。なお、「避難をあきらめている」は 3.6%、「わからない」は 6.8%となっている。



第4章　賀来校区の活動計画と策定までのプロセス

（1）目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

賀来校区社協の目標１

誰もが集える居場所づくりをすすめます。

ふれあい対象者に関する実態調査結果などから、高齢化が進むにつれ地域との交流が次第に希薄になっていくことを心配しているといった声がありました。このような状況を改善するには、地域住民の方々との絆を大切にして、日頃から近所の皆さんと対話をし、地域や隣近所で助け合うことが大切です。そのような地域づくりを推進するため、下記の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

- すべての自治会にふれあいサロンの設置をすすめます。
- サロン交流会を開催し、サロン参加者の交流が図れるようにします。
- 困りごとを気軽に相談できるサロン活動をすすめます。
- 校区内のボランティア、福祉関係団体、福祉施設等と連携し、多様な居場所づくりを検討します。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

- ふれあい対象者等は集いの場に出てくることが出来ない人が大半。外に出てくることが出来ない人に、どう対応するか。
- 地域の高齢者と会える行事は良いと思う。知らない方や会ったことのない方と交流するのは楽しい。
- 年を取り、やめていく参加者をどうするか。
- 今は昔と違って 70 歳は働いているので、会員を増やすことが難しい。
- 何か活動を行うには、リーダーとなる人が必要だが、リーダーになってくれる人が少ない。

～提案・対応策～

- ボランティアがサロンの活動場所を整備してくれたことで繋がりができた。
- 誰もが気軽に立ち寄れる場所があれば毎日でも行きたい。
- 自治会の公民館でサロンをすると、そこに行くまでが大変という方がいたので、近所に集まって話すだけの小さなサロンをしていた。大きくサロンをすると難しいが、身近な地域だけですれば、昔からの顔見知りなので集まりやすく、参加者同士でよく話す。

賀来校区社協の目標２

活動の基盤づくりをすすめましょう。

校区の福祉活動を推進するには、一部の活動者だけでは困難な状況があり、活動を手助けしてくれる多くの協力者が必要です。多くの地域住民の方々に活動参加を促し、福祉協力者を増やして、校区福祉活動の充実を図るため、下記の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 自治会長、民生児童委員、関係団体等での情報交換会を定期的に開催します。
- 校区社協活動を支える担い手（ボランティア）の発掘、養成をすすめるため、校区ボランティア募集、養成講座を実施します。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

- 向こう三軒両隣で、お互いに話し合って助け合っていける地区はいいが、なかなか人間関係ができていない地区（区画整理、団地等）をどうするか。
- サポート体制をつくっても、ボランティアが活躍する場がないと続かないと思う。食事会や弁当配布、通学時の見守り等、色んな役割をつくらないといけない。
- 地域の行事や活動に協力しているが、だんだんときつくなってきた。
- お年寄りも大事だが、登下校の見守りなど、子どもも大事にしないといけない。

～提案・対応策～

- 今困っていない人もいずれ困ることもあるので、常に接触をするような見守りをした方がいいと思う。
- 自治会を引っ張っていく人材を育成しないと、高齢者が増えたら支えていけなくなると思う。各地区で、ピラミッド型の体制で支える人間がいると良い。
- 自治会も高齢化してきているので、少し若い人を育てるイメージでサポート体制を作っていく方がいい。
- 他団体（消防団長、PTA 会長等）をメンバーに入れて、定期的に話し合いをするのはどうか。

賀来校区社協の目標３

困りごとの発見や解決を住民同士でできる仕組みをつくります。

一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増えるにつれ、草取りや家具の移動、買い物、通院、掃除などの手助けが必要な状況がある。このような困りごとに対応するため、住民主体の支援の仕組みづくりが必要なため、下記の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 困りごとを支援する担い手（ボランティア）の組織設立を検討する。
- 活動実績に応じたポイント（報償）の付与など、ボランティア活動を活性化するための仕組みを検討する。
- 広報誌を通じて、校（地）区社協活動を地域住民へ周知する。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

- 実態調査で相談する人はいると答えた人は多いが、家族が遠くにいるなど、実際に困った時、すぐに駆けつけてくれる人がいない人も多い。
- 今は車の運転ができるが、これから先が心配。田舎は雑草が多いので、草刈りも心配。
- 何をするにも賛否はあると思うが、ボランティアの気持ちは届いてほしい。

～提案・対応策～

- 団地も高齢化してきて、ゴミ出しや荷物運びが大変そうな方がいる。将来こういうサービスがあると分かれば、皆も安心して、困った時は頼もうとなるのではないか。
- 高齢者にとって、ゴミ出しや電球交換は難しい。ボランティア協議会を設立して、各地区で協力者を募ることから進めた方がいいと思う。
- 他校（地）区社協の取組等を参考にしながら、取り組みやすい部分から初めてみたら良いと思う。

賀来校区社協の目標４

災害時にも安心感がもてる地域づくりをすすめます。

ふれあい対象者の中には、避難所等に歩いて行けるのか等の不安や、支援を要する人の把握や情報の共有、支援の仕組みに不安を抱えている人がいることから、安心感の持てる支援の体制をつくるため、下記の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 災害に備えた活動を行うボランティアを自治会ごとに１人以上の配置をすすめます。
- ふれあい対象者、災害時要配慮者、要支援者の安心、安全を図るため、緊急連絡カード等の配備を促進し、緊急連絡先等の情報を自治会（自主防災会）等と情報共有を図る中、平常時のふれあい活動の拡充を図ります。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

- 避難所運営などの話はしたことがない。誰が避難所を運営するかという話もしていかないといけない。
- 突然の災害にどう対処すべきか。研修にも参加したが、災害時は気が動転すると思う。ヘルプの信号をどう出すか、どのように避難するか課題である。
- 校区内に川が通っていることもあり水害が想定されるが、安全な避難経路や避難場所の確保が課題となっている。

～提案・対応策～

- 自治会長と防災士と防災士協議会の研修会兼総会をする時に、消防団も呼ぶことにした。やはり、横の連携が必要であるのと、人と人との繋がりを引き継ぐような形を作らないといけないと思う。
- 避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有したい。近くにいるのか、班ごとに必要な方を知らせてもらえればと思う。

（2）計画策定メンバー

	団体名・所属	役職等	氏　名
1	賀来校区社会福祉協議会	会長	小野　博市
2	賀来校区社会福祉協議会	副会長（校区自治連会長）	秦　和恵
3	賀来校区社会福祉協議会	事務局長（公民館主事）	宮成　育代
4	賀来校区社会福祉協議会	校区民児協会長・地域福祉推進委員	渕野　絹代
5	賀来校区社会福祉協議会	自治会長	宿利　文徳
6	賀来校区社会福祉協議会	自治会長	首藤　元徳
7	賀来校区社会福祉協議会	自治会長	猪原　元師
8	賀来校区社会福祉協議会	自治会長	見良津　保彦
9	賀来校区社会福祉協議会	自治会長	三ノ宮　義久
10	賀来校区社会福祉協議会	自治会長	吉良　美之
11	賀来校区社会福祉協議会	自治会長	平川　正敏
12	賀来校区社会福祉協議会	民生児童委員	阿部　千代美
13	賀来校区社会福祉協議会	民生児童委員	工藤　和代
14	賀来校区社会福祉協議会	民生児童委員	後藤　アヤ子
15	賀来校区社会福祉協議会	民生児童委員	江良　あけみ
16	賀来校区社会福祉協議会	民生児童委員	鹿子生　京子
17	賀来校区社会福祉協議会	賀来校区老人クラブ代表	築城　久宣
18	賀来校区社会福祉協議会	賀来校区公民館館長	田﨑　孝

(3)実施経過

開催日	内容
令和3年4月14日（水）11：00～	事務局会議
令和3年6月11日（金） ～令和3年6月25日（金）	調査対象者整備活動 （ふれあい台帳対象者等整備）
令和3年7月9日（金）11：00～	調査員説明会
令和3年7月9日（金） ～令和3年9月10日（金）	調査実施期間
令和3年10月29日（金）10：00～	事務局会議
令和3年11月5日（金）10：00～	事務局会議
令和3年11月20日（土）10：30～	実態調査結果報告
令和3年12月12日（日）10：00～	第１回話し合い（意見出し）
令和4年2月14日（月） ～令和4年2月27日（日）	第２回話し合い 〔計画（案）を書面にて意見交換〕
令和4年3月11日（金）13：30～	第３回話し合い（活動計画の策定）

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。
今後とも、賀来校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますようお願い致します。

第5章　資料編

(1)実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問１】あなたの性別を教えてください。

１）男性　　２）女性

【問２】あなたの年齢を教えてください。

１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳
５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

【問３】居住形態を教えてください。

１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家
３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅
６）その他（　　）

【問４】家族構成を教えてください。

１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居
５）その他（　　）

【問５】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満
４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

【問６】あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない
４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態
６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

【問 7】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

1）炊事　　2）掃除　　3）洗濯　　4）買い物　　5）ゴミ出し
6）布団干し　　7）草とり　　8）電球の交換　　9）家具の移動
10）その他（　　）
11）特になし

【問 8】その他に、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）医療や介護のこと　　２）経済的なこと　　３）地域の人とのつきあい
４）その他（　　）　　５）困っていることはない

【問９】困った時に相談する相手はいますか。（○はいくつでも）

１）家族・親族　　２）友人・知人　　３）自治会長　　４）民生委員
５）ふれあい協力者　　６）専門家（医師、地域包括支援センターなど）
７）その他（　　）　　８）相談できる人はいない

【問１０】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

１）誰でもいいから力を借りたい
２）ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
３）顔見知りではない人から力を借りたい
４）誰からも力を借りたくない

５）今は分からない

日常的な外出についてお尋ねします

【問１１】どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　２）病院　３）散歩　４）友達と会う　５）別居の家族や子どもと会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味　８）その他（　　）

【問１２】お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　２）週１回　３）週２～４回　４）週５回以上

【問１３】以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　２）足腰の痛み　３）トイレの心配　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　６）移動手段がない　７）その他（　　）
８）外出を控えていない

【問１４】外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　２）車いす　３）自転車　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問１５】あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　６）ほとんど付き合いがない

【問１６】日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

【問１７】あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場　２）困ったことを相談できる場
３）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
４）地域のために必要なボランティア活動を考える場
５）子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
６）子育て中の親子が集える場　７）退職後の男性が集える場
８）その他（　　）

【問１８】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問１９】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

【問２０】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

１）既に協力している
２）可能な範囲で協力をしてみたい
３）協力したいとは思わない
４）その他（　　）

【問２１】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

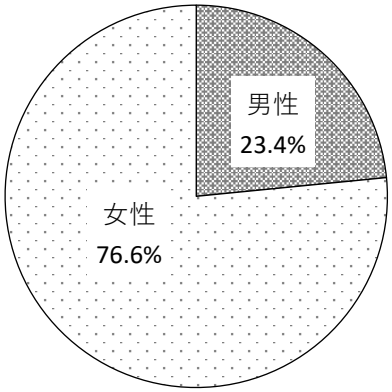
調査へご協力いただき、ありがとうございました。

（2）実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=192）

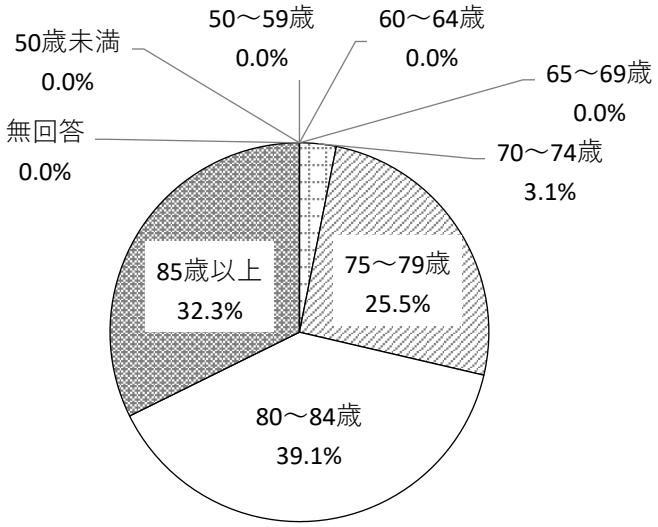
	回答数	割合
男性	45	23.4%
女性	147	76.6%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=192）

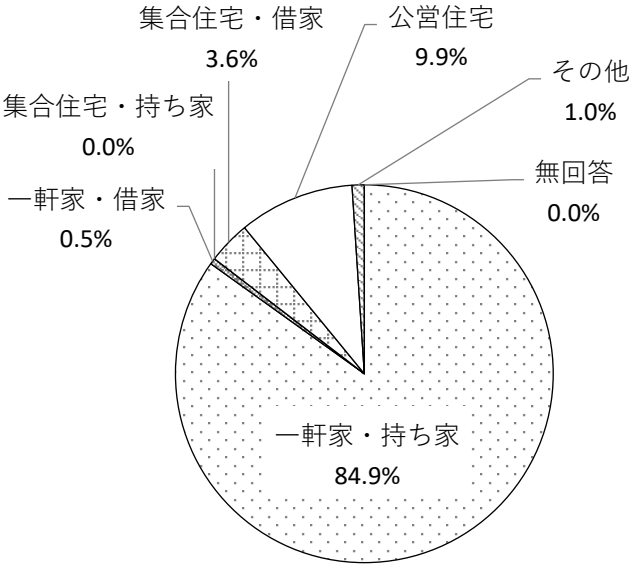
	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	0	0.0%
65～69歳	0	0.0%
70～74歳	6	3.1%
75～79歳	49	25.5%
80～84歳	75	39.1%
85歳以上	62	32.3%
無回答	0	0.0%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=192）

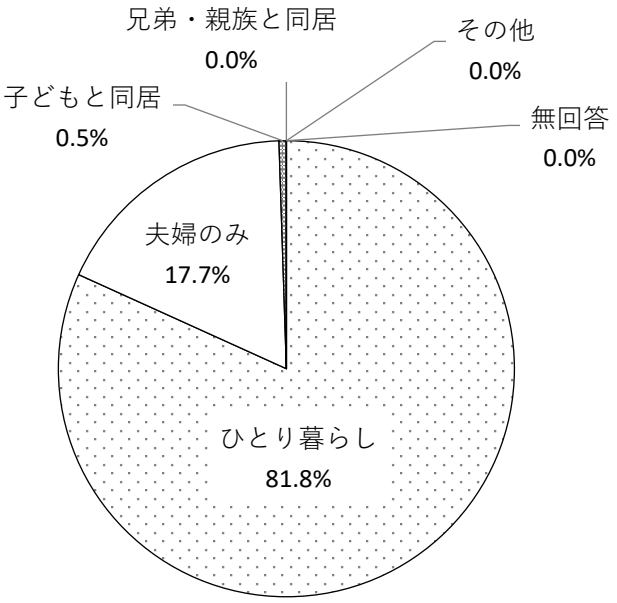
	回答数	割合
一軒家・持ち家	163	84.9%
一軒家・借家	1	0.5%
集合住宅・持ち家	0	0.0%
集合住宅・借家	7	3.6%
公営住宅	19	9.9%
その他	2	1.0%
無回答	0	0.0%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=192）

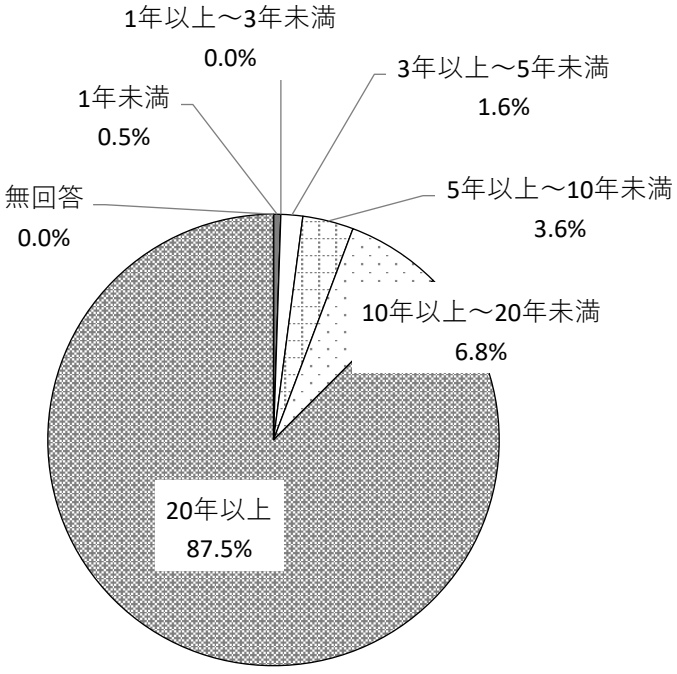
	回答数	割合
ひとり暮らし	157	81.8%
夫婦のみ	34	17.7%
子どもと同居	1	0.5%
兄弟・親族と同居	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=192）

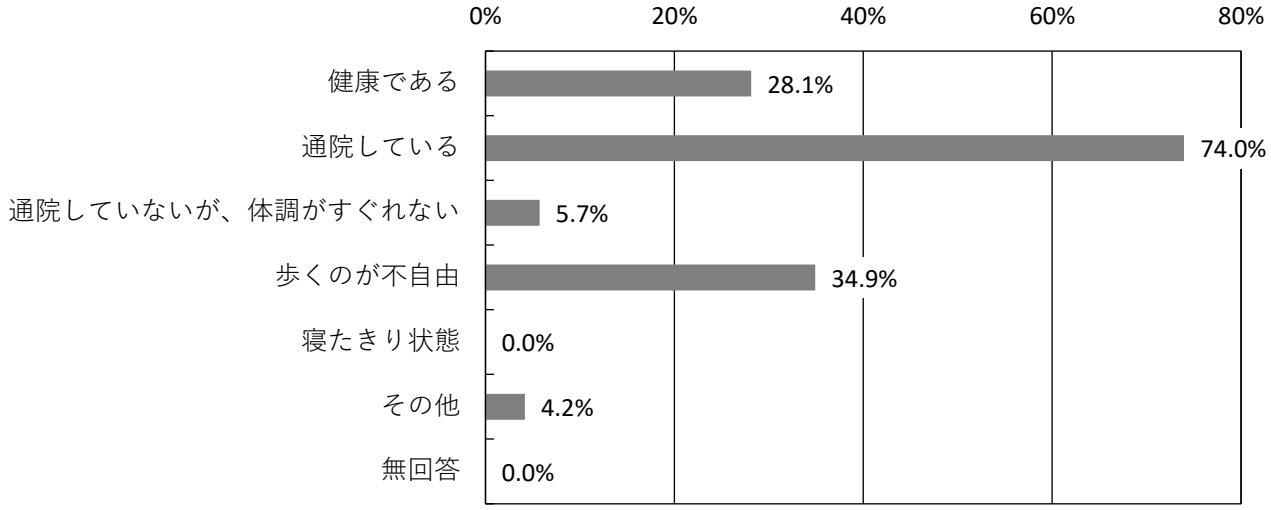
	回答数	割合
1年未満	1	0.5%
1年以上～3年未満	0	0.0%
3年以上～5年未満	3	1.6%
5年以上～10年未満	7	3.6%
10年以上～20年未満	13	6.8%
20年以上	168	87.5%
無回答	0	0.0%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（〇はいくつでも）

（N=192）

	回答数	割合
健康である	54	28.1%
通院している	142	74.0%
通院していないが、体調がすぐれない	11	5.7%
歩くのが不自由	67	34.9%
寝たきり状態	0	0.0%
その他	8	4.2%
無回答	0	0.0%



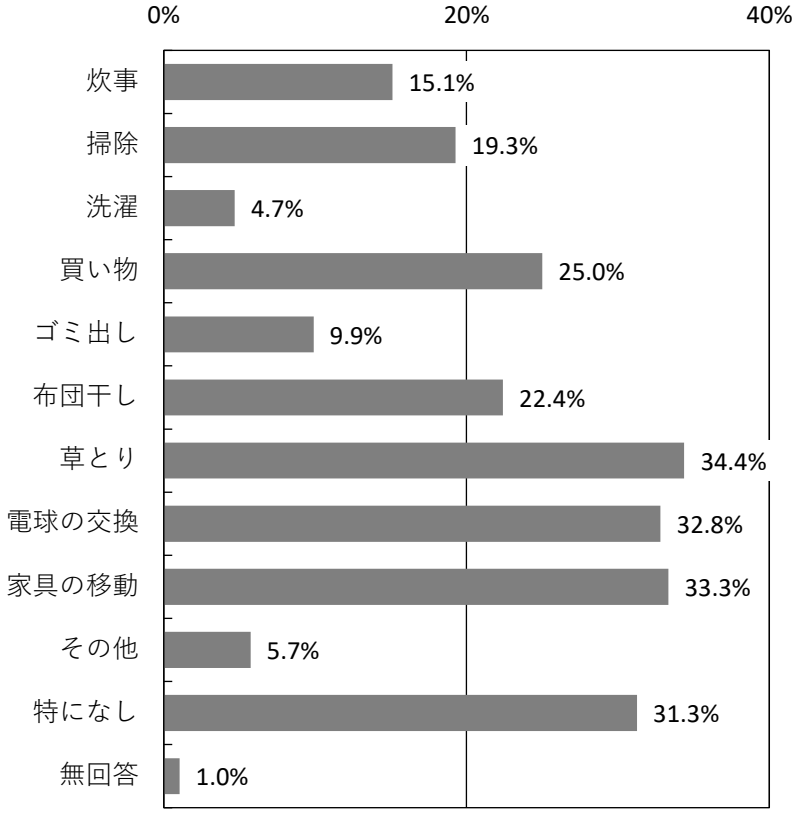
※複数回答

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他	無回答
全　体		192	28.1%	74.0%	5.7%	34.9%	－	4.2%	－
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	6	16.7%	66.7%	16.7%	50.0%	－	－	－
	75～79歳	49	26.5%	71.4%	4.1%	28.6%	－	8.2%	－
	80～84歳	75	36.0%	69.3%	8.0%	29.3%	－	4.0%	－
	85歳以上	62	21.0%	82.3%	3.2%	45.2%	－	1.6%	－

問 7	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=192）

	回答数	割合
炊事	29	15.1%
掃除	37	19.3%
洗濯	9	4.7%
買い物	48	25.0%
ゴミ出し	19	9.9%
布団干し	43	22.4%
草とり	66	34.4%
電球の交換	63	32.8%
家具の移動	64	33.3%
その他	11	5.7%
特になし	60	31.3%
無回答	2	1.0%



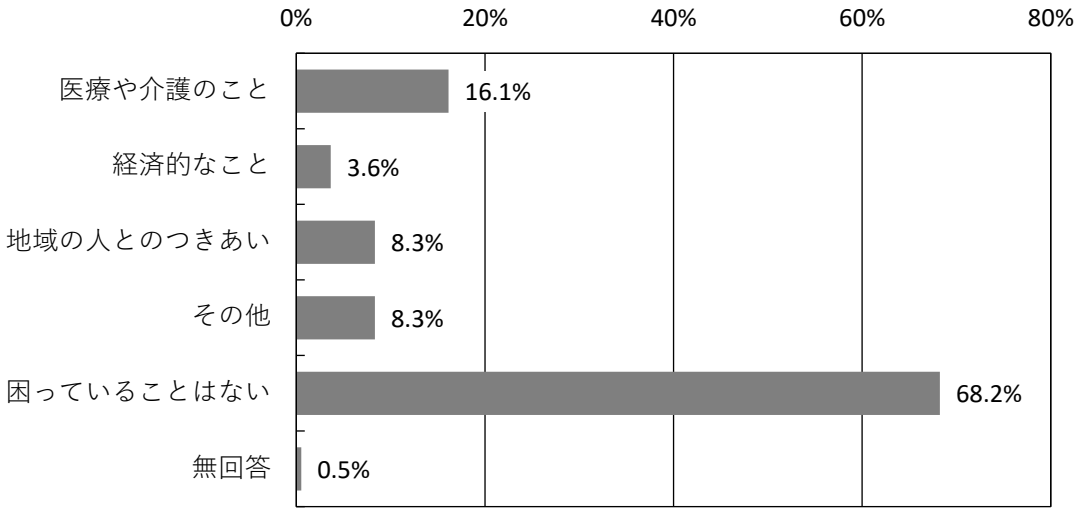
※複数回答

		サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし	無回答
全　体		192	15.1%	19.3%	4.7%	25.0%	9.9%	22.4%	34.4%	32.8%	33.3%	5.7%	31.3%	1.0%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	6	－	－	－	16.7%	33.3%	16.7%	－	－	50.0%	－	50.0%	－
	75～79歳	49	18.4%	12.2%	4.1%	16.3%	4.1%	22.4%	32.7%	40.8%	28.6%	6.1%	32.7%	2.0%
	80～84歳	75	10.7%	18.7%	2.7%	21.3%	8.0%	16.0%	30.7%	26.7%	25.3%	6.7%	38.7%	－
	85歳以上	62	19.4%	27.4%	8.1%	37.1%	14.5%	30.6%	43.5%	37.1%	45.2%	4.8%	19.4%	1.6%

問 8	その他に、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=192）

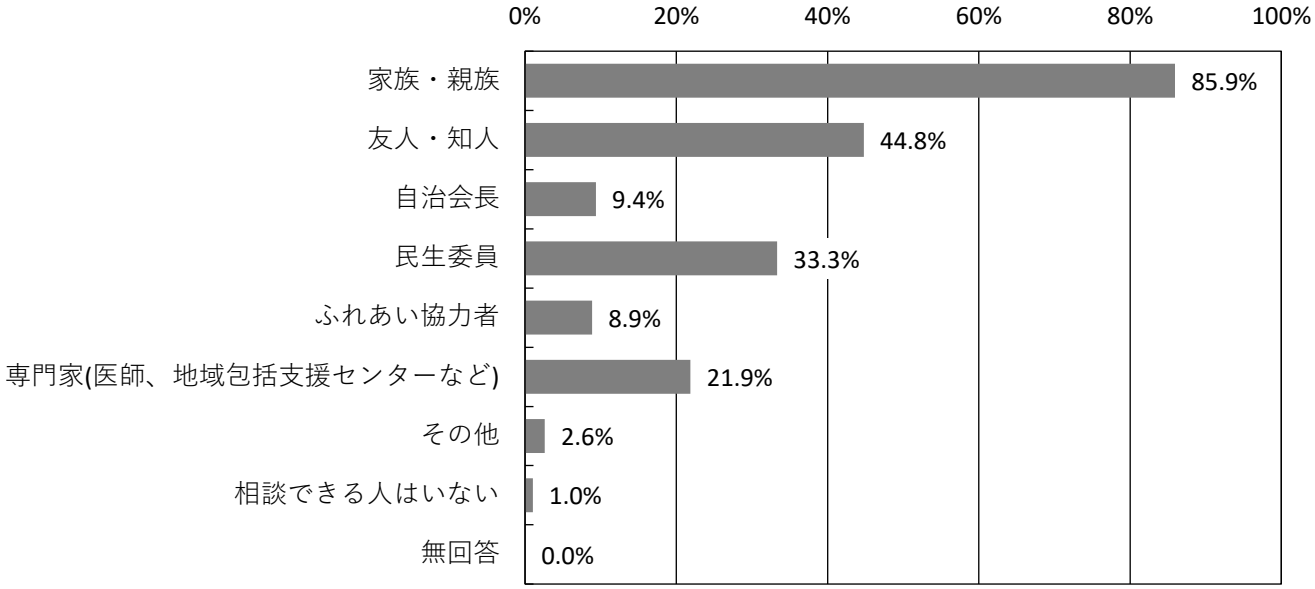
	回答数	割合
医療や介護のこと	31	16.1%
経済的なこと	7	3.6%
地域の人とのつきあい	16	8.3%
その他	16	8.3%
困っていることはない	131	68.2%
無回答	1	0.5%



問 9	困った時に相談する相手はいますか。（〇はいくつでも）

（N=192）

	回答数	割合
家族・親族	165	85.9%
友人・知人	86	44.8%
自治会長	18	9.4%
民生委員	64	33.3%
ふれあい協力者	17	8.9%
専門家(医師、地域包括支援センターなど)	42	21.9%
その他	5	2.6%
相談できる人はいない	2	1.0%
無回答	0	0.0%



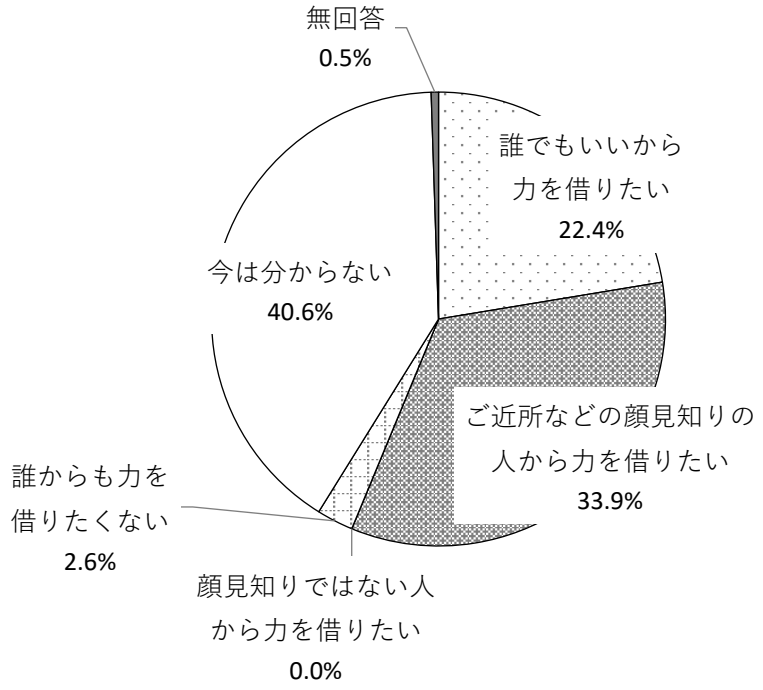
※複数回答

		サンプル数	家族・親族	友人・知人	自治会長	民生委員	ふれあい協力者	専門家（医師、地域包括支援センターなど）	その他	相談できる人はいない	無回答
全　体		192	85.9%	44.8%	9.4%	33.3%	8.9%	21.9%	2.6%	1.0%	－
性別	男性	45	80.0%	33.3%	8.9%	24.4%	6.7%	20.0%	4.4%	4.4%	－
	女性	147	87.8%	48.3%	9.5%	36.1%	9.5%	22.4%	2.0%	－	－

問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

（N=192）

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	43	22.4%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	65	33.9%
顔見知りではない人から力を借りたい	0	0.0%
誰からも力を借りたくない	5	2.6%
今は分からない	78	40.6%
無回答	1	0.5%

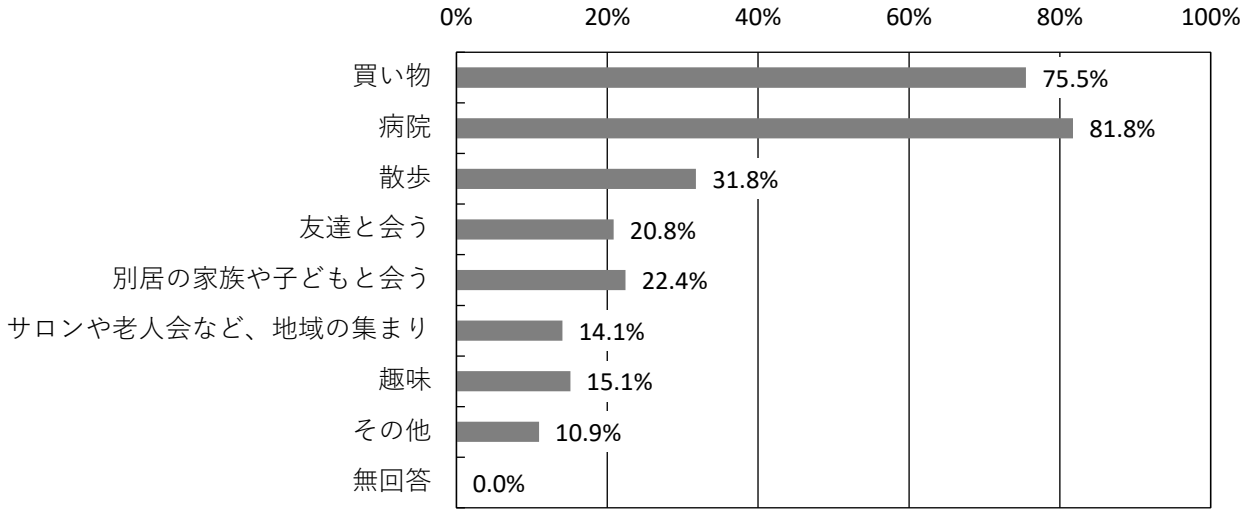


		サンプル数	誰でもいいから力を借りたい	ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	顔見知りではない人から力を借りたい	誰からも力を借りたくない	今は分からない	無回答
全　体		192	22.4%	33.9%	－	2.6%	40.6%	0.5%
性別	男性	45	24.4%	31.1%	－	4.4%	37.8%	2.2%
	女性	147	21.8%	34.7%	－	2.0%	41.5%	－

問 11	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=192）

	回答数	割合
買い物	145	75.5%
病院	157	81.8%
散歩	61	31.8%
友達と会う	40	20.8%
別居の家族や子どもと会う	43	22.4%
サロンや老人会など、地域の集まり	27	14.1%
趣味	29	15.1%
その他	21	10.9%
無回答	0	0.0%



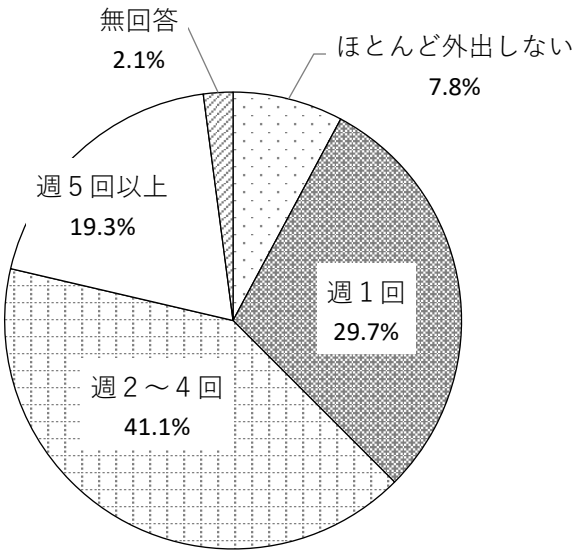
※複数回答

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他	無回答
全　体		192	75.5%	81.8%	31.8%	20.8%	22.4%	14.1%	15.1%	10.9%	－
性別	男性	45	73.3%	77.8%	31.1%	11.1%	15.6%	15.6%	17.8%	15.6%	－
	女性	147	76.2%	83.0%	32.0%	23.8%	24.5%	13.6%	14.3%	9.5%	－
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	6	66.7%	100.0%	33.3%	－	16.7%	－	－	－	－
	75～79歳	49	83.7%	73.5%	38.8%	44.9%	28.6%	12.2%	24.5%	4.1%	－
	80～84歳	75	89.3%	84.0%	33.3%	16.0%	22.7%	10.7%	16.0%	6.7%	－
	85歳以上	62	53.2%	83.9%	24.2%	9.7%	17.7%	21.0%	8.1%	22.6%	－

問 12	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=192）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	15	7.8%
週 1 回	57	29.7%
週 2 ～ 4 回	79	41.1%
週 5 回以上	37	19.3%
無回答	4	2.1%

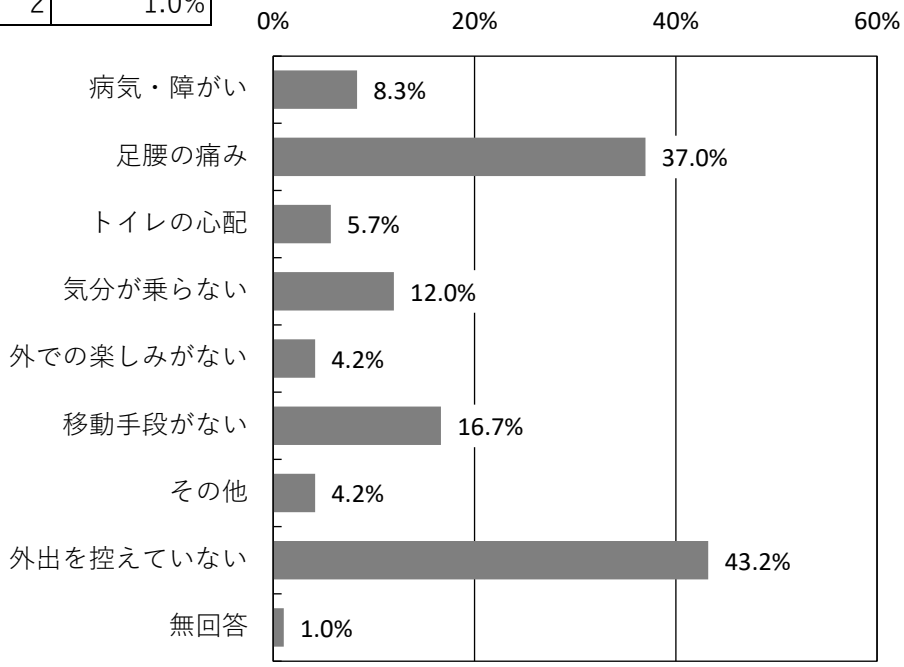


		サンプル数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全　体		192	7.8%	29.7%	41.1%	19.3%	2.1%
性別	男性	45	11.1%	11.1%	42.2%	35.6%	－
	女性	147	6.8%	35.4%	40.8%	14.3%	2.7%

問 13	以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=192）

	回答数	割合
病気・障がい	16	8.3%
足腰の痛み	71	37.0%
トイレの心配	11	5.7%
気分が乗らない	23	12.0%
外での楽しみがない	8	4.2%
移動手段がない	32	16.7%
その他	8	4.2%
外出を控えていない	83	43.2%
無回答	2	1.0%



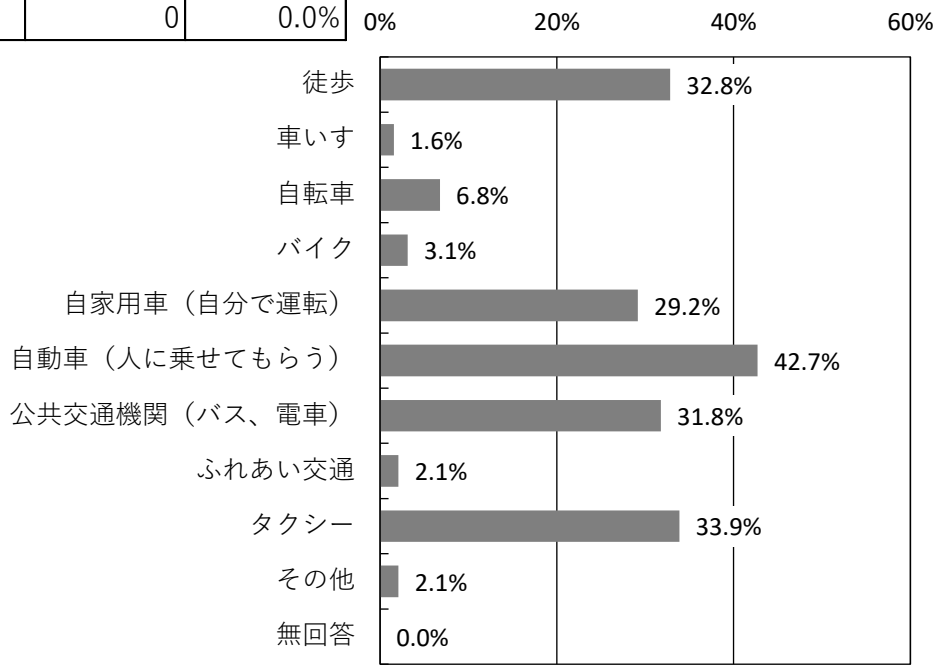
※複数回答

		サンプル数	病気、障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない	無回答
全　体		192	8.3%	37.0%	5.7%	12.0%	4.2%	16.7%	4.2%	43.2%	1.0%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	6	16.7%	16.7%	－	－	－	16.7%	－	50.0%	－
	75～79歳	49	6.1%	34.7%	6.1%	20.4%	2.0%	14.3%	－	51.0%	－
	80～84歳	75	4.0%	33.3%	5.3%	10.7%	2.7%	14.7%	5.3%	45.3%	－
	85歳以上	62	14.5%	45.2%	6.5%	8.1%	8.1%	21.0%	6.5%	33.9%	3.2%

問 14	外出する際の主な移動手段は何ですか。（〇はいくつでも）

（N=192）

	回答数	割合
徒歩	63	32.8%
車いす	3	1.6%
自転車	13	6.8%
バイク	6	3.1%
自家用車（自分で運転）	56	29.2%
自動車（人に乗せてもらう）	82	42.7%
公共交通機関（バス、電車）	61	31.8%
ふれあい交通	4	2.1%
タクシー	65	33.9%
その他	4	2.1%
無回答	0	0.0%



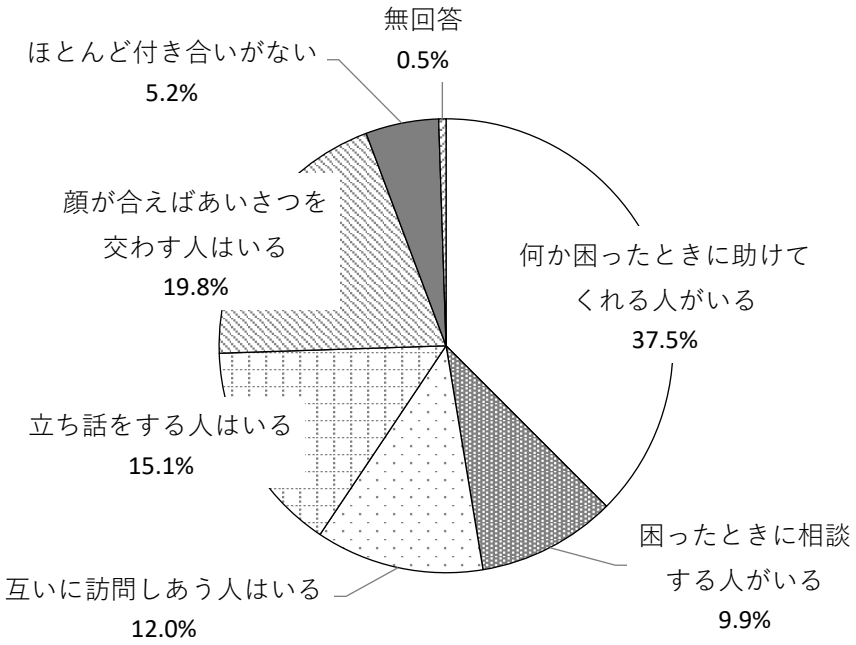
※複数回答

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関（バス、電車）	ふれあい交通	タクシー	その他	無回答
全　体		192	32.8%	1.6%	6.8%	3.1%	29.2%	42.7%	31.8%	2.1%	33.9%	2.1%	−
年齢別	50歳未満	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	50～59歳	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	60～64歳	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	65～69歳	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	70～74歳	6	33.3%	16.7%	−	−	33.3%	33.3%	33.3%	−	33.3%	−	−
	75～79歳	49	32.7%	−	8.2%	4.1%	44.9%	28.6%	42.9%	−	28.6%	−	−
	80～84歳	75	33.3%	−	6.7%	5.3%	32.0%	45.3%	32.0%	2.7%	34.7%	4.0%	4.0%
	85歳以上	62	32.3%	3.2%	6.5%	−	12.9%	51.6%	22.6%	3.2%	37.1%	1.6%	1.6%

問 15	あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

（N=192）

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	72	37.5%
困ったときに相談する人がいる	19	9.9%
互いに訪問しあう人はいる	23	12.0%
立ち話をする人はいる	29	15.1%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	38	19.8%
ほとんど付き合いがない	10	5.2%
無回答	1	0.5%

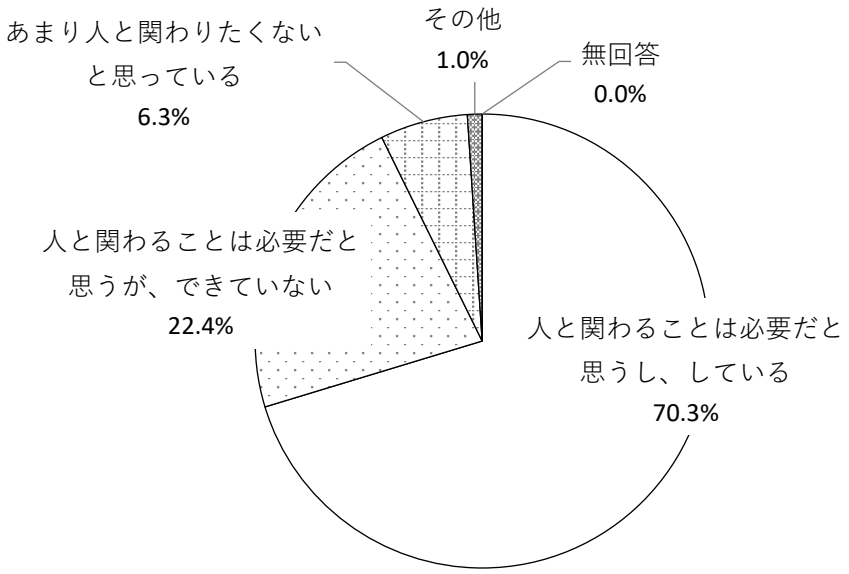


		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全　体		192	37.5%	9.9%	12.0%	15.1%	19.8%	5.2%	0.5%
性別	男性	45	28.9%	8.9%	13.3%	11.1%	31.1%	4.4%	2.2%
	女性	147	40.1%	10.2%	11.6%	16.3%	16.3%	5.4%	－

問 16	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

（N=192）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	135	70.3%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	43	22.4%
あまり人と関わりたくないと思っている	12	6.3%
その他	2	1.0%
無回答	0	0.0%

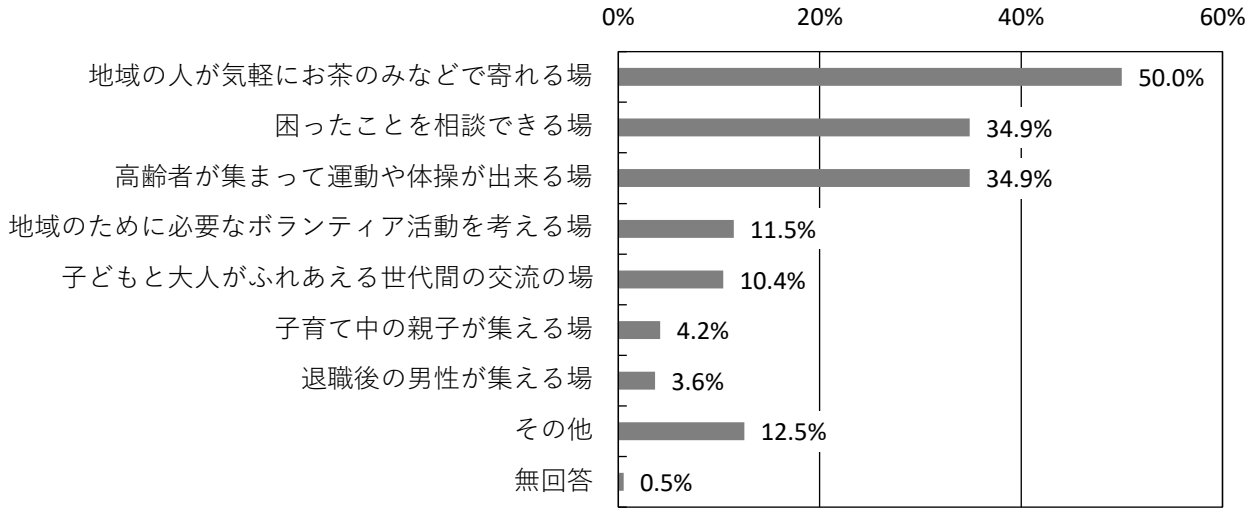


		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全　体		192	70.3%	22.4%	6.3%	1.0%	−
性別	男性	45	80.0%	13.3%	6.7%	−	−
	女性	147	67.3%	25.2%	6.1%	1.4%	−

問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=192）

	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	96	50.0%
困ったことを相談できる場	67	34.9%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	67	34.9%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	22	11.5%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	20	10.4%
子育て中の親子が集える場	8	4.2%
退職後の男性が集える場	7	3.6%
その他	24	12.5%
無回答	1	0.5%



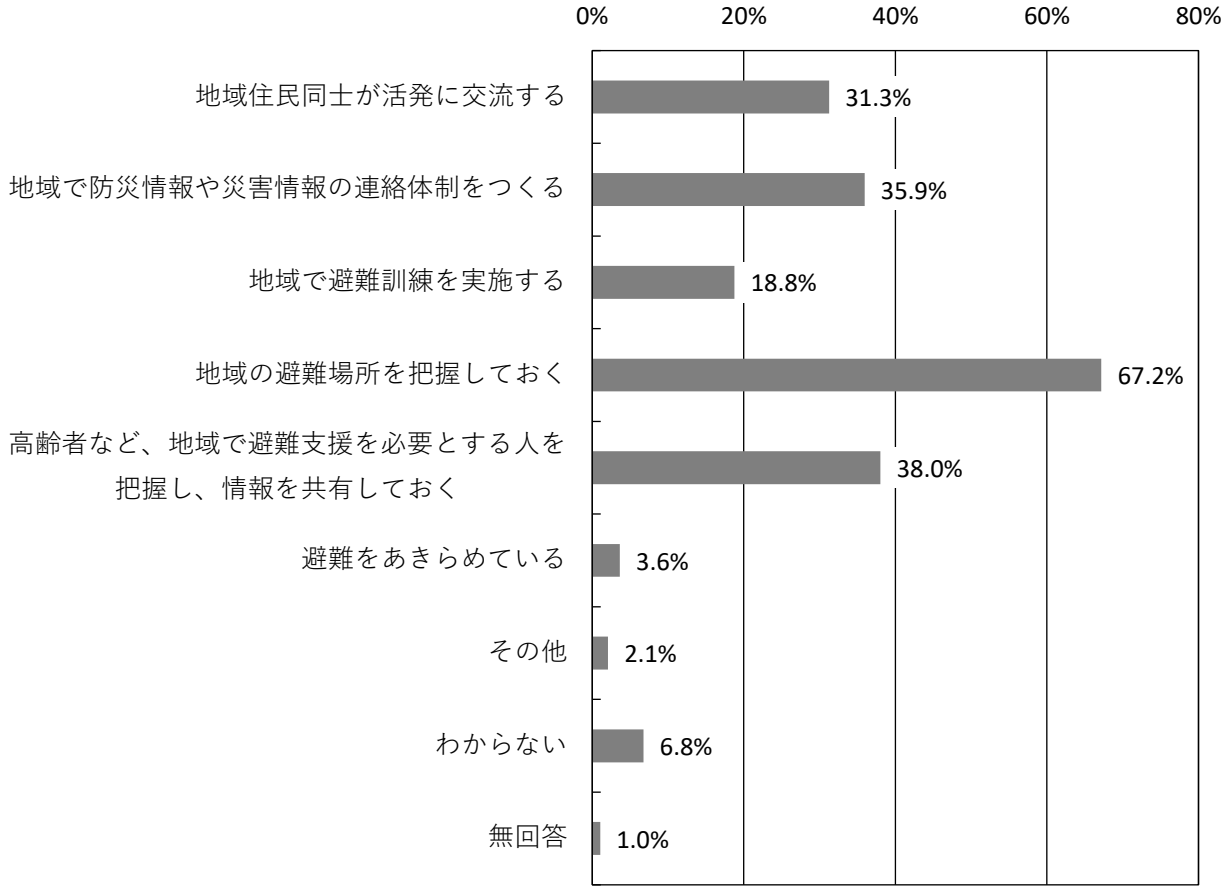
※複数回答

		サンプル数	地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答
全　体		192	50.0%	34.9%	34.9%	11.5%	10.4%	4.2%	3.6%	12.5%	0.5%
性別	男性	45	48.9%	33.3%	31.1%	17.8%	13.3%	2.2%	11.1%	11.1%	－
	女性	147	50.3%	35.4%	36.1%	9.5%	9.5%	4.8%	1.4%	12.9%	0.7%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	6	50.0%	－	16.7%	－	－	－	－	33.3%	－
	75～79歳	49	53.1%	42.9%	34.7%	18.4%	16.3%	8.2%	8.2%	16.3%	－
	80～84歳	75	40.0%	33.3%	45.3%	9.3%	5.3%	4.0%	2.7%	8.0%	－
	85歳以上	62	59.7%	33.9%	24.2%	9.7%	12.9%	1.6%	1.6%	12.9%	1.6%

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=192）

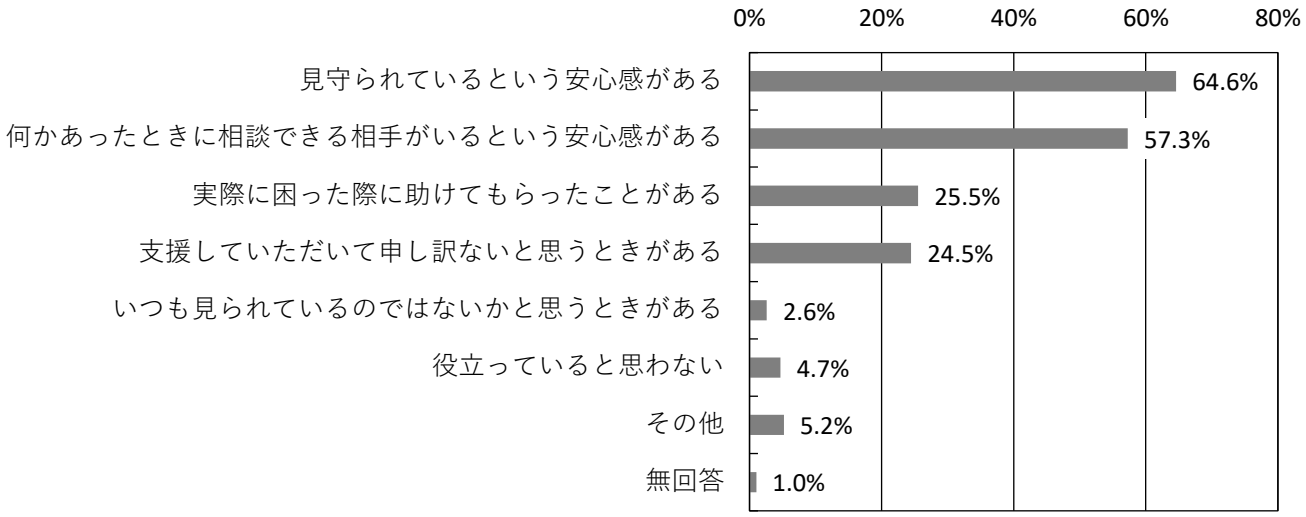
	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	60	31.3%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	69	35.9%
地域で避難訓練を実施する	36	18.8%
地域の避難場所を把握しておく	129	67.2%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	73	38.0%
避難をあきらめている	7	3.6%
その他	4	2.1%
わからない	13	6.8%
無回答	2	1.0%



問 19	「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

（N=192）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	124	64.6%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	110	57.3%
実際に困った際に助けてもらったことがある	49	25.5%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	47	24.5%
いつも見られているのではないかと思うときがある	5	2.6%
役立っていると思わない	9	4.7%
その他	10	5.2%
無回答	2	1.0%



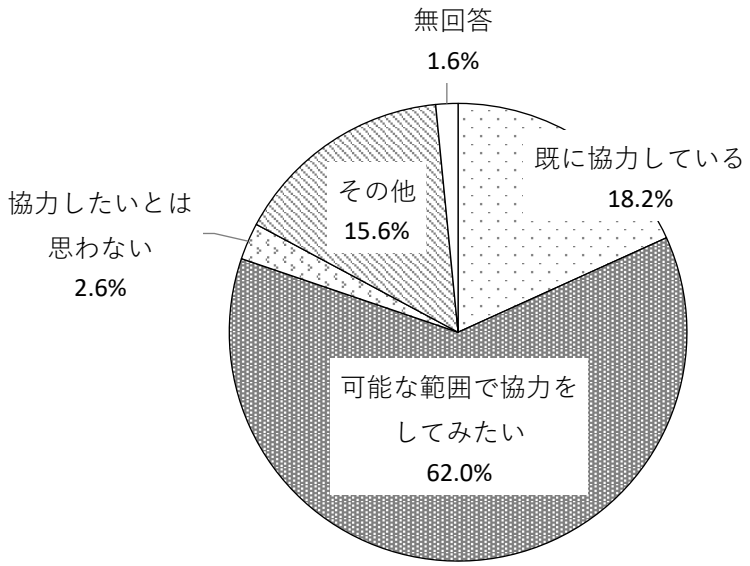
※複数回答

		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援をしていただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答
全　体		192	64.6%	57.3%	25.5%	24.5%	2.6%	4.7%	5.2%	1.0%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	6	50.0%	16.7%	－	50.0%	16.7%	－	－	－
	75～79歳	49	59.2%	46.9%	32.7%	26.5%	－	2.0%	8.2%	2.0%
	80～84歳	75	68.0%	65.3%	20.0%	22.7%	1.3%	6.7%	5.3%	1.3%
	85歳以上	62	66.1%	59.7%	29.0%	22.6%	4.8%	4.8%	3.2%	－

問 20	あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

（N=192）

	回答数	割合
既に協力している	35	18.2%
可能な範囲で協力をしてみたい	119	62.0%
協力したいとは思わない	5	2.6%
その他	30	15.6%
無回答	3	1.6%



賀来校区社会福祉協議会　地域福祉活動計画

発　行　日　　令和４年３月
発　　行　　賀来校区社会福祉協議会
大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係
〒８７０－０８３９
大分市金池南１丁目５番１号　J：COM ホルトホール大分４階
℡　０９７－５４７－７４１８